

科目名	HST310: 東洋研究				担当教員	田中 和彦	
開講期	春	開講時限	月木1限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	異文化理解、フィリピン、インドネシア、ベトナムの風土と歴史、香辛料貿易						
授業の概要	本講義は、東洋世界の中で、南シナ海を囲むフィリピン、インドネシア、ベトナムを取り上げ、その風土と歴史をふまえてその文化的重層性と多様性を明らかにし、異文化理解の一つの方法を示す。また、東洋世界と西洋世界を結びつけた香辛料貿易と陶磁器貿易及び旧大陸と新大陸を結びつけたガレオン貿易についても取り上げる。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】南シナ海を囲むフィリピン、インドネシア、ベトナムをその風土と歴史をふまえ、正しく理解することを学び、異文化理解の方法と視点を学ぶ。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピンの文化的多様性をスペイン、アメリカ、日本に統治を受けた歴史をふまえて理解する。</li> <li>・インドネシアの文化的多様性をオランダに統治を受けた歴史とイスラム教の普及、華僑社会の発展をふまえて理解する。</li> <li>・ベトナムの文化と歴史を中国とフランスに統治を受けた歴史をふまえて理解する。</li> <li>・東西世界の貿易におけるインドネシア産香辛料の貿易が果たした役割を理解する。</li> <li>・旧大陸と新大陸の貿易において太平洋を横断したガレオン船の貿易が果たした役割と中継地マニラが果たした役割を理解する。</li> </ul>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】</p> <p>授業毎のリアクションペーパー (30%)、期末課題 (2,800字以上のレポート) (70%)</p> <p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リアクションペーパー：講義の内容を正確に把握し、問いに対して自ら考え、自分の言葉で表現できるかどうか。</li> <li>・期末レポート：課題本を読み、自分の言葉で問題提起を行い、論じることができるかどうか。</li> </ul>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	ガイダンス	講義とリアクションペーパー	配布資料を読む。
2	フィリピンの親族関係とその周辺	講義とリアクションペーパー	参考書①pp.25-28を読む。
3	フィリピン人社会における価値観	講義とリアクションペーパー	参考書①pp.28-35及び配布資料を読む。
4	フィリピン、インドネシア、ベトナムの自然と災害ー地形と地震ー	講義とリアクションペーパー	参考書①pp.37-40及び配布資料を読む。
5	フィリピン、インドネシア、ベトナムの自然と災害ー気候と台風ー	講義とリアクションペーパー	参考書①pp.40-42及び配布資料を読む。
6	フィリピン、インドネシアの言語①ー英語と主要言語ー	講義とリアクションペーパー	参考書②pp.71-74及び配布資料を読む。
7	フィリピン、インドネシアの言語②ーフィリピン語とインドネシア語の挨拶、標識辞ANG (フィリピン語)ー	講義とリアクションペーパー	参考書②pp.75-79及び配布資料を読む。
8	フィリピン、インドネシアの言語③ーフィリピン語の形容詞、標識辞NG、SAー	講義とリアクションペーパー	参考書②pp.75-79及び配布資料を読む。
9	フィリピン、インドネシア、ベトナムの農産物①ー米を利用した料理ー	講義とビデオ視聴、リアクションペーパー	参考書①pp.43-49及び配布資料を読む。
10	フィリピン、インドネシアの農産物②ー棚田における水稻耕作ー	講義とビデオ視聴、リアクションペーパー	参考書①pp.43-49及び配布資料を読む。
11	フィリピン、インドネシアの農産物③ーバナナー	講義とリアクションペーパー	配布資料を読む。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
12	フィリピン、インドネシア、ベトナムの民族と社会①ー複合社会ー	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
13	フィリピン、インドネシア、ベトナムの民族と社会②ーイタ族、アエタ族ー	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
14	フィリピン、インドネシアの民族と社会③ー漂海民：バジャオ族ー	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
15	フィリピン、インドネシアの民族と社会④ー川の民：イバナグ族ー	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
16	フィリピン、インドネシアの民族と社会⑤ー華僑と中華街ー	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
17	フィリピン、インドネシアの民族と社会⑥ーメスティーンー	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
18	フィリピン、インドネシアの宗教①ーキリスト教ー	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
19	フィリピン、インドネシアの宗教②ーイスラム教ー	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
20	フィリピン、インドネシアの宗教③ーヒンズー教ー	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
21	フィリピン、インドネシアの歴史：先史時代①ー海流と文化交流ー	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
22	フィリピン、インドネシアの歴史：先史時代②ー南島語族の拡散ー	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
23	フィリピン、インドネシアの歴史：海のシルクロードと海域東南アジア世界①：10、11世紀の資料	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
24	フィリピン、インドネシアの歴史：海のシルクロードと海域東南アジア世界②：15世紀前半の資料	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
25	フィリピン、インドネシアの歴史：海のシルクロードと海域東南アジア世界③：15世紀後半～16世紀前半の資料	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
26	フィリピン、インドネシアの歴史：香辛料貿易と海域東南アジア世界①：胡椒の貿易	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
27	フィリピン、インドネシアの歴史：香辛料貿易と海域東南アジア世界②：丁子の貿易	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
28	フィリピン、インドネシアの歴史：ガレオン貿易と海域東南アジア世界①：アジアから新大陸に運ばれた物	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
29	フィリピン、インドネシアの歴史：ガレオン貿易と海域東南アジア世界②：新大陸からアジアに運ばれた物	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
30	まとめ	講義とリアクション ペーパー	配布資料を読む。
テキスト	プリントを配布する。		
参考書	①デイビッド・J・スタインバーグ著、堀芳枝、石井正子、辰巳頼子訳『フィリピンの歴史・文化・社会ー単一にして多様な国家ー』（明石書店、2000年） ②大野拓司、寺田勇文編『現代フィリピンを知るための60章』（明石書店、2001年） ③綾部恒雄・石井米雄編『もっと知りたいインドネシア [第2版]』（弘文堂、1995年） ④桜井由躬雄『もっと知りたいベトナム [第2版]』（弘文堂、1995年）		

科目名	JPN311: 日本文化				担当教員	森下 園	
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4202	オフィスアワー	水3限、木4限、金5限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	日本史、日本文化、自己イメージと他者イメージ						
授業の概要	「日本らしい文化」「日本人らしさ」とはどのような経緯を経て作り出されてきたのか、日本史を踏まえながら見ていく。特に近世以降の理解に重点を置く。主に「日本民族」の自己及び他者イメージ、日本王権論、宗教、芸能、メディア文化、家族、他国との交流、言語、ポップカルチャーについて、英文資料も使いながら取り上げる。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】日本の文化・歴史について問われた時に、専門的なレベルで答え、あるいは議論できるようにすることが目標である。</p> <p>【到達目標】高校の日本史レベルの内容を頭に入れた上で、講義で扱う概念・用語・事例を理解し、自分の言葉で説明できるようにする。そのため、講義前にその時代の主な出来事について予習を行い、授業終了時に授業内容について出された課題の解答を履修カードに記入していく。また特に関心のあるトピックについて、参考文献を読み、まとまった文章で論述できるようにする。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】履修カードに記入する課題（5行程度）が2%×28回=56%、3,000字の期末レポートが44%の計100%となる。</p> <p>【評価基準】各回の課題は講義内容を理解し、1パラグラフで適切に用語を使ってきちんと論述してあれば2点、パラグラフになっていない文章や配布プリントの内容を写しただけなどの場合は1点、授業時間内に提出しない場合は0点となる。レポートは、適切な参考文献を使用・引用して、定められた書式・字数で期日までに提出すれば内容に応じて30点以上の評価となる。参考文献の選択ミス・引用註の不備・書式・字数の不備、誤字脱字などはそれぞれ5～10点の減点対象となる。考慮すべき理由（インフルエンザ、忌引きなど）以外の遅延はマイナス20点、考慮すべき理由がある場合もマイナス10点とする。引用であることを示さず文章の丸写しがあった場合は0点となる。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	はじめにー「日本文化」とは何か	講義、質疑応答、履修カードに氏名記入	自分が思う「日本文化」について、箇条書きにする
2	「日本人」の定義（1）旧石器遺跡捏造事件	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
3	「日本人」の定義（2）人類学者の学説変遷	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
4	「日本人」の定義（3）植民地政策にあらわれるゆらぎ	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
5	「日本」のイメージ（1）第二次世界大戦中の自己イメージと他者イメージ	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
6	「日本」のイメージ（2）高度経済成長と「電子立国」	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
7	日本の王権論（1）古代	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
8	日本の王権論（2）天皇と将軍の関係	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
9	日本の王権論（3）異形の王権	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
10	日本の王権論（4）明治以降の天皇制	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	日本の宗教 (1) 神と仏の関係	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
12	日本の宗教 (2) キリシタンとキリスト教	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
13	日本の宗教 (3) 江戸時代の宗教・明治の宗教	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
14	日本の芸能 (1) 源氏物語	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
15	日本の芸能 (2) 琵琶法師	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
16	日本の芸能 (3) 能と歌舞伎	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
17	日本の芸能 (4) 浮世絵と書物	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
18	日本の家族観 (1) 江戸時代の婚姻・離婚	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
19	日本の家族観 (2) 明治の教育と家族観の変化	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
20	他国との交流 (1) 朝鮮半島との交流史	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
21	他国との交流 (2) 日本を訪れた人々・日本から移民した人々	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
22	他国との交流 (3) 明治期の日本人留学生	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
23	言語 — 「標準語」と「方言」、「日本語」と「英語」	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
24	戦争 — 明治維新から太平洋戦争までの日本と世界	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
25	メディア文化 (1) 明治・大正時代のメディアと女性	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
26	メディア文化 (2) 雑誌・ラジオ・TV・映画	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
27	メディア文化 (3) ネットメディアの問題	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
28	ポップカルチャー (1) アニメとマンガ	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
29	ポップカルチャー (2) 少女文化	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピック・時代について予習
30	再び「日本文化」とは何か	講義、質疑応答、レポートについての注意	レポート準備

テキスト	なし、授業内容に関するプリントを配布
参考書	網野善彦『日本とは何か 日本の歴史 00』(講談社) 小熊英二『単一民族神話の起源』(新曜社)
その他特記事項	板書はしない方針である。

科目名	HST301: 英米史				担当教員	森下 園	
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4202	オフィスアワー	水3限、木4限、金5限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	英国史、米国史、英米文化、英米文学						
授業の概要	英国・米国の歴史について、日本語・英語の史資料を読みながら基本的に年代順に見ていく。古代ローマ時代から現代まで、政治史だけではなく、文化的トピックについても取り上げる。歴史の長さから、英国史が2/3を占めることになる。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】英国・米国の歴史と文化的背景を学び、史資料を用いて自分の言葉で特定の事件やトピックの歴史上の位置づけや意義について説明できるようにすることが目標である。</p> <p>【到達目標】高校の世界史レベルの内容を頭に入れた上で、各時代の事件・人名・トピックについて自分の言葉で説明できるようにする。そのため、講義前にその時代の主な出来事について予習を行い、授業終了時に授業内容について出された課題の解答を履修カードに記入していく。また中間試験では、史資料を用いてその出来事の意義や解釈をまとめた文章で書けるようにしていく。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】履修カードに記入する課題（5行程度）が2%×26回=52%、日本語・英語の史資料のみを用いた論述式ペン書きの試験が24%×2回=48%の計100%となる。</p> <p>【評価基準】各回の課題は講義内容を理解し、1パラグラフで適切に用語を使ってきちんと論述してあれば2点、パラグラフになっていない文章や配布プリントの内容を写しただけなどの場合は1点、授業時間内に提出しない場合は0点となる。試験は設問に対して数パラグラフで史資料を適切に用いてまとめてあれば内容に応じて20点以上、史資料を適切に読み込んでいない、背景となる歴史を理解していない場合や文意の通らない文などは各マイナス5点、問題表紙の解答上の注意に従わない場合は0点となる。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	はじめにーUKとUSA	講義、質疑応答、履修カードに氏名記入	次回史資料を読んで下調べ
2	ケルトとローマン・ブリテン	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
3	アングロ=サクソン時代と北海帝国	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
4	島嶼彩色写本と工芸品	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
5	ノルマン・コンクエストとアンジュー帝国	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
6	アーサー王と円卓の騎士のロマンス	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
7	英仏百年戦争と言語	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
8	バラ戦争とジェントリ階層の台頭	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
9	ヘンリ7世の対外政策とヘンリ8世の宗教改革	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
10	エリザベス女王と海軍の神話化	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	中世文学と中世演劇	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
12	内乱と名誉革命、試験	講義、質疑応答、試験	次回史資料を読んで下調べ 12回までのまとめ
13	イングランド銀行と内閣	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
14	アメリカ植民	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
15	アメリカ独立戦争	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
16	アメリカ南北戦争と奴隷制	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
17	アメリカの開拓時代とその終焉	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
18	アメリカ文学、試験返却と講評	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
19	産業革命と万国博覧会	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
20	大英帝国とインド	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
21	「国外」で活躍する女性たち	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
22	大英帝国から英連邦へ	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
23	アメリカの繁栄と移民	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
24	第一次世界大戦	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
25	第二次世界大戦	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
26	アメリカの公民権運動とネイティブアメリカン問題	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
27	米ソ冷戦	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
28	アイルランド問題、試験	講義、質疑応答、試験	次回史資料を読んで下調べ 27回までのまとめ
29	冷戦終結後の世界	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回史資料を読んで下調べ
30	現代のUKとUSA、試験返却と講評	講義、質疑応答	次回史資料を読んで下調べ

テキスト	なし、授業内容に関するプリントを配布
参考書	川北稔編『イギリス史』(山川出版社) 紀平英作編『アメリカ史』(山川出版社)
その他 特記事項	板書はしない方針である。

科目名	HST300: 比較社会史				担当教員	森下 園	
開講期	春	開講時限	火金3限	研究室	4202	オフィスアワー	水3限、木4限、金5限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	社会史、社会構築主義、身分階層、ジェンダー、言語						
授業の概要	社会構築主義の観点から、身分階層、ジェンダー、家族、他者排除、ナショナリズムとグローバルゼーションなどについて講義を行う。地域・時代が異なる事例をトピックごとに取り上げていく。高校レベルの世界史の知識を前提とする。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 学生が社会構築主義に基づく分析に必要な用語・概念を理解し、現代社会の問題をその観点から論述できるようになることが目標である。</p> <p>【到達目標】 学生は次回に取り上げるトピックについて事典・参考書で調べることで用語・概念を理解できるようになり、講義後に履修カードのまとめ欄に要約や質問を記入することで、各回のポイントを把握できるようになる。試験では履修カードのみを参照して論述式の問題に答えられるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】 26回分の履修カードのまとめが 2%×26回=52%、履修カードのみ持ち込み可のペン書きの論述式の間接試験が 24%×2回=48%となる。</p> <p>【評価基準】 履修カードは、要点整理して自分の言葉でまとめてあれば2点、プリントなどの言葉をつぎはぎしただけの場合は1点、授業時間内に提出できなかった場合は0点、試験は設問に対して文章でキーワードを用いてまとめてあれば内容に応じて20点以上、キーワードを使わない場合や文意の通らない文などはマイナス5点、問題表紙の解答上の注意に従わない場合は0点となる。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	社会史と社会構築主義	講義、質疑応答、	社会構築主義とは何か、調べてくる
2	近代の学的知 (1) 歴史学	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
3	近代の学的知 (2) 比較文学	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
4	近代の学的知 (3) 人類学・民族学	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
5	近代の学的知 (4) ジェンダー・スタディーズ	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
6	王権 (1) 西欧の王 — 皇帝と王	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
7	王権 (2) 日本の王 — 天皇と将軍	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
8	身分階層 (1) 貴族とミドルクラス	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
9	身分階層 (2) インドのカースト制	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
10	教育と学校 — 西欧と近代日本の学校	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	女性と職業 ― ガヴァネスと看護師	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
12	家族と社会 (1) 近代イングランド	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
13	家族と社会 (2) 近代日本	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
14	研究紹介 (1) エドワード・サイード 試験	講義、質疑応答、試験	試験準備
15	スティグマの付与 (1) 聖女と魔女	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
16	スティグマの付与 (2) 「異人」論	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
17	死者との交流 (1) 西欧の幽霊	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
18	死者との交流 (2) 日本の幽霊	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
19	発見される「他者」	講義、試験返却と講評、履修カード記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
20	言語 (1) 標準語の問題	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
21	言語 (2) クレオール	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
22	法と秩序	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
23	無縁とアジール	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
24	ナショナリズム	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
25	記憶と記録	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
26	サブカルチャー	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
27	研究紹介 (2) G. C. スピヴァク 試験	講義、質疑応答、試験	試験準備
28	研究紹介 (3) M・フーコー	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
29	研究紹介 (4) 網野善彦	講義、質疑応答、履修カードに記入	次回トピックを調べてまとめ、予習カードに記入
30	現代の問題における比較の視座	質疑応答、試験の講評	全体を振り返ってまとめを履修カードに記入

テキスト	なし、授業内容に関するプリントを配布
参考書	上野千鶴子『構築主義とは何か』（勁草書房）
その他 特記事項	板書はしない方針である。



科目名	INT301: 国際関係論				担当教員	岡田 美保	
開講期	春	開講時限	月木5限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	主権国家システム、国民国家、非国家主体、安全保障、国益、規範、日本外交						
授業の概要	今日の国際関係を理解するには、国家間の相互依存の深化、グローバル化の流れのなかで国家が果たす役割をどのように考え、評価するかが一つの鍵となる。本科目では、具体的な国際問題を事例として取り上げ、主要紙（とくに国際面）に目を通す習慣を身につけながら国際関係論を学習する。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b> 本科目では、国際関係の仕組みや構造についての基礎知識を身につけたうえで、領土問題をはじめとする伝統的な国際紛争や、テロや地球環境問題など具体的な国際問題を検討する。個々の国際問題における国家、国際機関、非国家主体の役割の相違や変容について考察する視座を養う。</p> <p><b>【到達目標】</b> 国際関係論の基礎理論を習得したうえで、とくに関心の強い分野やテーマを見つけ、自分なりの視座から問題点を指摘したり、論じたりすることができるようになる。つまり、新聞や雑誌の記事やテレビ報道をそのまま鵜呑みにするのではなく、肯定すべき点、批判すべき点の識別をしながら論理的で説得力ある議論を展開する力が身につく。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b> 平常点（35%）、グループ・プレゼンテーション（1回）（35%）、授業内試験（2回）（30%）</p> <p><b>【評価基準】</b> 平常点：授業の理解度、積極参加、課題への取り組み グループ・プレゼンテーション：プレゼンテーションの内容、説得力、質疑応答 授業内試験：1回目は用語解説、2回目は論述問題</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	はじめに：国際関係論と国家の役割	ガイダンス 講義 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて配布資料を読み返す。
2	国際関係の仕組み（1）：主権国家システムの基本構造	講義 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて配布資料を読み返す。
3	国際関係の仕組み（2）：「国家」の3要素	講義 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて新聞（国際面）を読む。
4	国際関係の仕組み（3）：国家管轄権の適用基準	講義 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて新聞（国際面）を読む。
5	国際関係の仕組み（4）：国際紛争の解決方法	講義 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて新聞（国際面）を読む。
6	国際関係の仕組み（5）：国家の成立と承認	講義 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて新聞（国際面）を読む。
7	国際関係の仕組み（6）：国際機関の役割と限界	講義 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて新聞（国際面）を読む。
8	小括	授業内試験（1）	【予習】試験準備
9	試験の解説	講義 質疑応答	【復習】解説をふまえて自分の答案を読み返す。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	日本の抱える外交問題① 捕鯨問題	講義 質疑応答	【復習】講義内容に即した新聞記事を見つけて提出。
11	日本の抱える外交問題② 領土問題	講義 質疑応答	【復習】講義内容に即した新聞記事を見つけて提出。
12	テロリズムをめぐる国際政治	講義 質疑応答	【復習】講義内容に即した新聞記事を見つけて提出。
13	資源・エネルギーと国際政治	講義 質疑応答	【復習】講義内容に即した新聞記事を見つけて提出。
14	地球環境と国際政治	講義 質疑応答	【復習】講義内容に即した新聞記事を見つけて提出。
15	核兵器と国際政治	講義 質疑応答	【復習】講義内容に即した新聞記事を見つけて提出。
16	小括	授業内試験 (2)	【予習】試験準備
17	試験の解説／グループ・プレゼンテーションのテーマ設定、グループ分け	講義 グループワーク	【予習】各自発表したいテーマを考えておく。
18	グループ①（捕鯨問題）のテーマに関する解説・問題提起	講義 グループワーク	【復習】プレゼンテーション、質疑応答準備
19	グループ②（領土問題）のテーマに関する解説・問題提起	講義 グループワーク	【復習】プレゼンテーション、質疑応答準備
20	グループ③（テロリズム）のテーマに関する解説・問題提起	講義 グループワーク	【復習】プレゼンテーション、質疑応答準備
21	グループ④（資源・エネルギー）のテーマに関する解説・問題提起	講義 グループワーク	【復習】プレゼンテーション、質疑応答準備
22	グループ⑤（地球環境）のテーマに関する解説・問題提起	講義 グループワーク	【復習】プレゼンテーション、質疑応答準備
23	グループ⑥（核兵器）のテーマに関する解説・問題提起	講義 グループワーク	【復習】プレゼンテーション、質疑応答準備
24	グループ⑦（その他）のテーマに関する解説・問題提起	講義 グループワーク	【復習】プレゼンテーション、質疑応答準備
25	グループ⑧（その他）のテーマに関する解説・問題提起	講義 グループワーク	【復習】プレゼンテーション、質疑応答準備
26	グループ⑨（その他）のテーマに関する解説・問題提起	講義 グループワーク	【復習】プレゼンテーション、質疑応答準備
27	グループ・プレゼンテーション (1) : グループ①②③	プレゼンテーション 討議	【予習】プレゼンテーション準備
28	グループ・プレゼンテーション (2) : グループ④⑤⑥	プレゼンテーション 討議	【予習】プレゼンテーション準備
29	グループ・プレゼンテーション (3) : グループ⑦⑧⑨	プレゼンテーション 討議	【予習】プレゼンテーション準備
30	総括	講義 質疑応答	【復習】関心をもったテーマにつき新聞をフォロー。

テキスト	授業内容に関するレジュメ、およびその他の関連資料を配布する。
参考書	授業時に紹介する。

科目名	ANT200: 文化人類学				担当教員	C. Oliver	
開講期	秋	開講時限	月木2限	研究室	4205	オフィスアワー	月・木3限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	cultural anthropology, culture, fieldwork, understanding others, interview research						
授業の概要	This course provides an introduction to cultural anthropology. Regular class sessions will consist of lectures, watching scenes from films, and discussions among students. Examples will come from many parts of the world, including Indonesia, Mexico, Papua New Guinea, Iran, North America, and sub-Saharan Africa. Each student will do an interview project (with a written report) and discuss the findings in class. All assignments will be in English.						
達成目標および到達目標	<p><i>Course goals:</i> This course will help students understand what cultural anthropologists study and how they study it. Students will also be able to develop their own research skills.</p> <p><i>Learning objectives:</i> By the end of the semester, students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• understand key ways that anthropological study differs from that of other social sciences;</li> <li>• understand broadly the range of topics often studied in anthropology;</li> <li>• understand and explain the significance of key examples of those topics;</li> <li>• understand key anthropological concepts and apply them to cultural processes;</li> <li>• use careful observation and inference-making to gain cultural understanding;</li> <li>• ask good questions for doing qualitative, interview research.</li> </ul>						
評価方法および評価基準	<p><i>Categories:</i> Participation 10%; Homework 30%; Interview Project, including written report 30%; Tests 30%.</p> <p><i>Criteria:</i> Participation: Active participation in everyday class activities, including discussions. Homework: Submitted on time and completed thoroughly, shows adequate understanding and application of key concepts, demonstrates careful observation and inference-making. Interview Project: Each part submitted on time and according to instructions, demonstrates good interview research questions as well as careful observation and inference-making. Tests: Demonstrate understanding of how anthropological study differs from that of other social sciences, understanding of the range of topics studied in anthropology, understanding and ability to explain the significance of key examples, understanding and ability to apply key concepts, and careful observation and inference-making.</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	What is cultural anthropology?	lecture	Review syllabus, read pp. 2 & 73-74
2	Culture: definitions and examples	lecture, pair work	Read pp. 34-41
3	Anthropological research: fieldwork	lecture, video, pair work	Read pp. 13, 21-24 (also skim pp. 1-12 for homework)
4	Anthropological research: dialogue	lecture, video, pair work	Submit: homework about textbook authors' fieldwork
5	Doing qualitative interviews: the basics	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
6	Religion: general approach	lecture, video, pair work	Submit: interview practice worksheet
7	Interview Project planning (interview project will be explained)	lecture, small-group discussion	Read handout about Interview Project
8	Religion: "witchcraft" in Africa	lecture, pair work	Read pp. 123-125
9	Ritual: general concepts	lecture, video, pair work	Submit: HW about objective / subjective information
10	Ritual: what do rituals "do"?	lecture, video, pair work	Read pp. 123-125

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	Marriage and family: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 75-81, 86-87; submit: homework about film
12	Marriage and family: cultural arrangements	lecture, pair work	Submit: homework about marriage practices
13	Doing qualitative interviews: strategies for asking good questions	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
14	Gift-giving and exchange: general concepts	lecture, pair work	Submit: interview practice worksheet
15	Gift-giving and exchange: <i>potlatch</i> (also: discuss Interview Project topics)	lecture, video, small-group discussion	Read pp. 109-112, 115-117; submit: Interview Project topic
16	Gift-giving and exchange: <i>kula</i>	lecture, simulation (role-play)	Read pp. 109-112, 115-117
17	Culture and person / self: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 131-141
18	Culture and person / self: cultural variations	lecture, pair work	Submit: worksheet on Ch. 8
19	Health, illness, and medicine: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 136-140
20	Health, illness, and medicine: culture-bound syndromes	lecture, pair work	Submit: homework on culture-bound illnesses
21	Review, Test #1	lecture, test	Study for test
22	Social class: cultural dimensions	lecture, video, pair work	Read pp. 93, 103
23	Discuss Interview Project findings (based upon each student's completed interview)	small-group discussion	Submit: copy of actual interview notes
24	Identity: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
25	Identity: the importance of others	lecture, video, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
26	Nation and culture: what holds society together?	lecture, pair work	Read pp. 63-64, 89-90, 96-100
27	Globalization and transnationalism: anthropological approaches	lecture, pair work	Read pp. 103-106; submit: Interview Project report
28	Review, Test #2	lecture, test	Study for test
29	Watch film: "Children of Heaven" (making observations, forming inferences)	pair work, watch video while taking notes	Submit: Fact Sheet on Iran
30	Discuss film (forming inferences from observations); semester recap	small-group discussion, lecture	Submit: worksheet about the film

テキスト	J. Monaghan & P. Just. <i>Social &amp; Cultural Anthropology: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press).
参考書	H. Peters-Golden. <i>Culture Sketches: Case Studies in Anthropology</i> (McGraw-Hill).
その他特記事項	Lectures and course work will be in English. Each student must do an Interview Project that will require finding a suitable person to interview and interviewing that person outside of class.

科目名	ART200: 現代美術				担当教員	G. Freddes	
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	Romanticism, Japonisme, Modern Art, Contemporary Art, Post-Modern Art						
授業の概要	This course will explore developments in art from the 19 <sup>th</sup> to the 21 <sup>st</sup> Century. Each class will begin with a lecture and / or video on an artist, period, or style. This will be followed by readings pertaining to the lecture and discussion in small groups. Every class will conclude with students writing comments in English on the lecture contents. Students will be required to conduct research in an area of personal interest, visit two museums and submit two written reports in English.						
達成目標および到達目標	<p><i>Course goals:</i> Students will acquire a fundamental knowledge of major artists and art movements of the past 200 years. They will learn the vocabulary of art and various ways of looking at art by considering its formal characteristics, materials, and cultural / historical contexts. The course aims to support students in developing insights into how the rapidly changing modern world has affected individual artists and how they, in turn, have influenced and shaped the world in which we live.</p> <p><i>Learning objectives:</i> By the end of this course students will be able to recognize many of the most important modern artists. They will be able to describe the works formal characteristics, materials, and possess some understanding of its cultural / historical significance. Ultimately, students will be able to enjoy visiting museums, viewing new works and confidently express personal opinions.</p>						
評価方法および評価基準	<p><i>Categories:</i> Participation, Written Reactions (40%) Midterm Report (25%) Final Report (35%)</p> <p><i>Criteria:</i> Participation, Written Reactions (Note-taking during lecture, active involvement in discussions and art-making activities, effort in answering all written reactions using vocabulary learned in class and expressing a personal opinion of the artists and artworks seen in class.) Midterm Report (at least 600 words) Final Report (at least 800 words) Guidelines for both are the same. (1) Choose an artist of interest and research his / her life. Write the artist's biography. (2) Choose at least six works by the artist and, using vocabulary learned in class, describe the works in detail. Write a conclusion including what you learned about the artist. (3) Visit a museum and report on what you saw. Choose at least five works seen and write in detail about each of them.</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Course introduction. What is Modern Art? The Louvre, Orsay, and Beauborg Museums	Lecture, video, reading, writing	Read textbook pp. 66-71
2	Introduction to the textbook, online resources, and art vocabulary	Lecture, video, note-taking skills, writing	Read text pp. 76-78
3	The Nineteenth Century: Birth of the "Isms" Neoclassicism and Romanticism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 74-75, 79-80
4	Romanticism: Goya, Turner, Chopin & Verdi	Lecture, video, note-taking, talk, writing	View online resources
5	Nineteenth Century Japan: Ukiyo-e, Hokusai	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 89-91
6	The Industrial Revolution: Early modern architecture, Japonisme, Art Nouveau	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 92-95
7	Birth of Photography: Inventors, Pioneers, Travel, War, Documentary, Portrait, Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 96-103
8	Impressionism: Manet, Monet	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 104-109
9	Impressionism: Renoir, Degas, Cassat, Morisot	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 110-113, 133
10	Modern Sculpture: Rodin vs. Brancusi	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 114-115

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	Post-Impressionism: Seurat, Lautrec	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 118-122
12	Post-Impressionism: Gauguin, Van Gogh	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Bring colored pencils, markers or pastels to class
13	Van Gogh: "The Sunflowers"	Video, drawing activity	Read text pp. 123-125
14	Early Expressionism: Munch, Modersohn-Becker; Symbolism: Rousseau, Redon	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 128-132, 136-138
15	Fauvism: Matisse, Vlaminck, Derain, Dufy, Rouault	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit Midterm Report, Bring scissors, glue and color paper
16	Matisse: Cutouts: Create a class mural	Art making activity	Read text pp. 116-117, 136-138
17	Cezanne, Picasso	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 139-145
18	Futurism, Constructivism, Precisionism, and Expressionism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 146-147
19	Modernist Architecture: Le Corbusier	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text p. 148
20	Dada: Duchamp, Arp, Schwitters	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 149-151
21	Surrealism: Miro, Ernst, Dali, Magritte	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 152-153
22	20 <sup>th</sup> Century Photography: Henri Cartier-Bresson	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 158-163
23	Figural and Abstract Expressionism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 172-176
24	Pre-Pop and Pop Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 177-179
25	Minimal and Conceptual Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 188-189
26	Neo-Expressionism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit Final Reports Read text pp. 190-193
27	Post-Modernism: Diversity	Video, submit Final Reports, writing	Read pp. 194 to end of text
28	Current Trends 1990-2000	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read handout
29	Current Trends 2001-2015	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit late Final Reports (will not be returned to you)
30	Course review	Lecture, slideshow, course survey	Last chance to submit the Final Reports (not returned)

テキスト	Carol Strickland. <i>The Annotated Mona Lisa, Second Edition</i> (Andrews and Mc Meel)
参考書	<i>The Letters of Vincent van Gogh</i> The Museum of Modern Art: Online Collection
その他 特記事項	All lectures and student writing will be entirely in English. Videos: English / Bilingual / Japanese As mentioned above, students will be required to visit two exhibitions at museums.

科目名	EDU302: 比較・国際教育学				担当教員	杉村 美佳	
開講期	春	開講時限	火金4限	研究室	4220	オフィスアワー	水3限、金2・5限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	教育の国際比較、教育問題、教育制度、教育政策、開発と教育、グローバル化と教育						
授業の概要	先進国と途上国における教育の現状や課題について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて概観し、比較・国際教育学の基礎理論を理解する。さらに、今日的教育課題である多文化教育、シティズンシップ教育、開発教育や国際教育協力等のあり方を国際的視点から考察する。最後に、教育の国際比較をテーマにグループでレジюмеを作成し、プレゼンテーションを行う。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b> 比較・国際教育学の基礎理論を理解し、日本と諸外国の教育の現状や課題について、歴史的、政治的、経済的、文化的背景と関連付けて考察し、国際的視野から教育問題の解決に向けた方策を論じることができる。</p> <p><b>【到達目標】</b> ①日本と諸外国の教育制度や教育政策、教育問題等について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて考察する力を身に付け、比較・国際教育学の基礎理論を習得する。 ②各国の教育の状況や課題について、グループで議論し、レジюмеを作成、発表することを通して、比較・国際教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、考察することができる。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b> 授業時に課すリアクションペーパー（30%）、レジюме・プレゼンテーション（30%）、授業内試験（40%）</p> <p><b>【評価基準】</b> リアクションペーパー：論題について授業内容を踏まえて論理的に考察できているか。 レジюме：設定したテーマに即して参考文献の内容をまとめ、教育事象を論理的、批判的に考察できているか。 プレゼンテーション：パワーポイントなど発表を効果的にする資料を準備し、研究内容をわかりやすく伝える工夫をしているか。 授業内試験：授業の内容を理解し、設問に対して正確に回答できているか。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	比較教育学の歴史的展開と課題	講義・グループディスカッション	配布プリントの復習
2	国際教育学の歴史的展開と課題	講義・グループディスカッション	教育の国際組織を調べる 配布プリントの復習
3	教育制度の国際比較（1） —就学率・識字率・児童労働—	講義・グループディスカッション	児童労働について調べる 配布プリントの復習
4	教育制度の国際比較（2） —学校教育制度の類型—	講義・グループディスカッション	英文記事の和訳 配布プリントの復習
5	教育制度の国際比較（3） —教育制度改革の焦点—	講義・グループディスカッション	配布記事を読む 配布プリントの復習
6	教育文化の国際比較	講義・DVD視聴・ディスカッション	配布資料を読む 配布プリントの復習
7	先進国における学校化社会と学歴（1） —学校化社会と学歴社会—	講義・DVD視聴・ディスカッション	配布記事を読む 配布プリントの復習
8	先進国における学校化社会と学歴（2） —ヨーロッパの非学歴社会—	講義・グループディスカッション	配布記事を読む 配布プリントの復習
9	先進国における生涯学習社会	講義・DVD視聴・ディスカッション	配布記事を読む 配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	発展途上国における識字教育（1） —非識字者の分布と構成—	講義・グループディス カッション	非識字について調べる 配布プリントの復習
11	発展途上国における識字教育（2） —識字教育の取り組み—	講義・DVD視聴・デ ィスカッション	識字教育について調べる 配布プリントの復習
12	先進国における国民統合と学校教育（1） —新自由主義的教育政策—	講義・グループディス カッション	配布資料を読む 配布プリントの復習
13	先進国における国民統合と学校教育（2） —多文化共生教育—	講義・グループディス カッション	配布資料を読む 配布プリントの復習
14	多文化教育の国際比較	講義・グループディス カッション	配布資料を読む 配布プリントの復習
15	発展途上国における国民統合と学校教育 —マレーシアを中心に—	講義・グループディス カッション	配布資料を読む 配布プリントの復習
16	世界のシティズンシップ教育	講義・グループディス カッション	市民教育について調べる 配布プリントの復習
17	開発と教育（1）—開発教育—	講義・DVD視聴・ ィスカッション	配布資料を読む 配布プリントの復習
18	開発と教育（2）—国際教育協力—	講義・グループディス カッション	国際教育協力について調べ る、配布プリントの復習
19	開発と教育（3）—JICAによる国際教育協 力の実態—	講義・グループディス カッション	JICAについて調べる 配布プリントの復習
20	世界の自由教育	講義・DVD視聴・ ィスカッション	配布資料を読む 配布プリントの復習
21	小括と授業内試験	講義・質疑応答・ 授業内試験	20回目までの授業内容の復 習、口頭発表の準備
22	アジアの教育（1）東アジア	口頭発表・講評・リア クションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
23	アジアの教育（2）東南アジア	口頭発表・講評・リア クションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
24	アジアの教育（3）南アジア	口頭発表・講評・リア クションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
25	西ヨーロッパの教育	口頭発表・講評・リア クションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
26	北ヨーロッパの教育	口頭発表・講評・リア クションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
27	中東の教育	口頭発表・講評・リア クションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
28	アフリカの教育	口頭発表・講評・リア クションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
29	北米の教育	口頭発表・講評・リア クションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
30	オセアニアの教育	口頭発表・講評・リア クションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
テキスト	なし、毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配布する。		
参考書	石附実『比較・国際教育学』（東信堂） 二宮皓編著『世界の学校』（学事出版）		
その他 特記事項	JICAからゲストスピーカーを招き、日本の国際教育協力の実態について講義を行う。		



科目名	EDU320: 言語とリテラシー教育				担当教員	M. Andrade	
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4206	オフィスアワー	水3限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	education, culture, curriculum, literacy, reading, school, tutoring, writing						
授業の概要	The course introduces the principles of reading and writing instruction used in Kindergarten through Grade 5 in the United States and then analyzes videos of classroom teaching to understand how these principles are applied. Students can use the knowledge gained in this course to improve their skills as language tutors of English or Japanese. They will also gain understanding of cross-cultural differences between the American and Japanese educational systems.						
達成目標 および 到達目標	<p><i>Course goals:</i> To understand the basic principles of teaching and learning how to read and write in monolingual, bilingual, and multilingual classrooms. To become familiar with methods and materials used to teach literacy skills at the elementary school level. To become aware of cross-cultural similarities and differences in approaches to education.</p> <p><i>Learning objectives:</i> Students will aim to do the following: (1a) Understand and give examples of the five basic components of reading instruction and how they are realized in classroom instruction. (1b) Thoughtfully compare their own learning experiences with those depicted in the videos and readings. (2) Use a checklist to describe, analyze, and evaluate video cases studies of teaching. (3) Summarize and critique the contents of video case studies. (4a) Explain and give practical examples of the five basic components of reading. (4b) Explain the key terminology and concepts of literacy instruction.</p>						
評価方法 および 評価基準	<p><i>Categories:</i> Discussion 20%, homework 20%, quizzes 20%, exams 40% (20% + 20%)</p> <p><i>Criteria:</i> (1) <i>Discussion:</i> Demonstrate accurate comprehension of the readings and videos as well as show ability to reflect on the contents by responding effectively to the instructor's questions. (2) <i>Homework:</i> Degree of completeness and detail in filling out a checklist to describe, analyze, and evaluate video cases studies of teaching. (3) <i>Quizzes:</i> Accuracy and completeness of summaries. Ability to think critically about the video contents. (4) <i>Essay exams:</i> Accuracy and completeness of explanations of the five basic components of reading, key terminology, and concepts of literacy instruction as demonstrated in the videos and readings.</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Basic reading skills, phonics, oral language, fluency, vocabulary, comprehension	video, lecture, reading	Watch the video. Write a description and analysis.
2	Grades K-2: "Becoming readers..." Textbook: Oral Language, p. 8	video, lecture, reading	Watch the video. Write a description and analysis.
3	Grades K-2: "Writer's journal" (level appropriate independent writing)	lecture, discussion, video, Q&A,	Watch the video. Write a description and analysis.
4	Grades K-2: "Building oral language" Textbook: Phonological Awareness, p. 9	lecture, discussion, analyze video, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
5	Grades K-2: "Thalia learns the details" (letter sounds, inventive drawing)	lecture, discussion, video analysis, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
6	Grades K-2: "Assessment-driven instruction." Textbook: Fluency, p. 11	lecture, discussion, analyze video, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
7	Grades K-2: "Cassandra becomes a fluent reader" (using visual clues)	lecture, discussion, video analysis, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
8	Grades K-2: "Connecting Skills to Text." Textbook: Learning Vocabulary, p. 12	lecture, discussion, analyze video, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
9	Grades K-2: "Promoting readers as leaders." (managing classroom routines)	lecture, discussion, video analysis, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
10	Grades K-2: "Students make choices" Textbook: Prior Knowledge, p. 13	lecture, discussion, analyze video, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
11	Grades K-2: "William finds his base" (guided and independent reading)	lecture, discussion, video analysis, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
12	Grades K-2: “Staying on topic” Textbook: Comprehension, p. 14	lecture, discussion, analyze video, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
13	Grades K-2: “100 days of reading” (disabilities, age difference, mixed classes)	lecture, discussion, video analysis, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
14	Review and prepare for the exam	lecture, discussion, Q&A	Review. Study sample questions.
15	Review (30 min.) and exam (60 min.)	Q&A, small group discussions	Study sample questions.
16	Grades 3-5: “Creating contexts for learning.” Textbook: Motivation and Purpose, p. 15	lecture, discussion, analyze video, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
17	Grades 3-5: “Fluency and word study” (teaching strategies)	lecture, discussion, video analysis, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
18	Grades 3-5: “Building comprehension.” Textbook: Integrated Reading, p. 16	lecture, discussion, analyze video, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
19	Grades 3-5: “Writing” (reading and writing connection)	lecture, discussion, video analysis, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
20	Grades 3-5: “Teaching English language learners” [Skip Case study 5.]	lecture, discussion, video analysis, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
21	Grades 3-5: “Teaching diverse learners.” Textbook: Assessment, p. 18	lecture, discussion, analyze video, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
22	Grades 3-5: “Assessment and accountability” (standards and outcomes)	lecture, discussion, video analysis, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
23	Grades 3-5: “Investigating word meaning.” Textbook: Culture Factors, p. 19	lecture, discussion, analyze video, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
24	Grades 3-5: “Fostering book discussions” (bilingual book club activity)	lecture, discussion, video analysis, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
25	Grades 3-5: “Choosing words strategically.” Textbook: The Role of Practice, p. 20	lecture, discussion, analyze video, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
26	Grades 3-5: “Revising for clarity” (editing versus revising; using folk tales)	lecture, discussion, video analysis, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
27	Grades 3-5: “Reading across the curriculum.” Textbook: Conclusion, p. 21	lecture, discussion, analyze video, Q&A	Watch the video. Write a description and analysis.
28	Review and prepare for the exam	Q&A, small group discussions	Review. Study sample questions.
29	Review (30 min.) and exam (60 min.)	essay examination	Prepare for the exam.
30	Reflection and discussion. Action plan for further study.	lecture, discussion	Review

テキスト	Elizabeth Pang and others. <i>Teaching Reading</i> (UNESCO International Bureau of Education). PDF. Print outs from Learner.org, Reading.org, and other sources (literacy case studies, basic concepts)
参考書	Keith Topping. <i>Tutoring</i> (UNESCO International Bureau of Education). PDF.
その他特記事項	This course is similar to studying abroad at a college in the USA, so students should have high-level English listening and reading abilities. A TOEIC score of about 600 is highly recommended. In addition to regular reading and writing homework, this course requires about one hour of video watching each week outside of class time. <i>Note:</i> This course uses online videos that may sometimes be unavailable, so the contents of the syllabus may change somewhat.

科目名	PHL210: 倫理学					担当教員	丹木 博一
開講期	春	開講時限	火金1限	研究室	4214	オフィスアワー	月3限、金2限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	よく生きること、幸福、徳、正義、人格、規範、自由、義務、目的、責任、愛						
授業の概要	「生きるべきか」「よく生きるにはどのような行為選択を行うことが必要か」という倫理学の根本問題を追求する。善悪の基準や行為選択の指針に関する倫理学の歴史を辿りながら、生き方のよしあしを識別し、正しく行為するために、大切にしなければならない道徳的規範はどのようなものであるかを、具体的事例に関するディスカッションを通して考察する。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b> 「人生いかに生きるべきか」という問いを真剣に問い進め、自分の考えを築き上げることができる。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行為選択の倫理的規範にはどのようなものがあるかを理解し、表現できる。</li> <li>・ 倫理学の歴史に登場する基本的な概念の意味を正しく把握し、それを表現できる。</li> <li>・ 倫理的な問いを提起し、その問いに関する自分自身の考えを展開し、なぜそう考えるのか、その理由を説明できる。</li> </ul>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b> 授業毎のリアクションペーパー (30%)、中間課題 (1,500字程度の小レポート1回) (20%)、期末課題 (2,500字以上のレポート) (50%)</p> <p><b>【評価基準】</b> リアクションペーパー：質問に対し自分の言葉で真剣に論述できるかどうか。 中間課題：設題について正しく理解し、自分の言葉で論理的に論述展開できるかどうか。 期末課題：最低一冊は参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて自分の言葉で問いを提起し、その問いに関するさまざまな考えを理解した上で、理由を挙げて自分の考えを論じることができるかどうか。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	よく生きることと行為の正しさへの問い	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.13-37
2	正しさの3つの視点：福祉・自由・美德	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.37-55
3	道徳的ジレンマ	ディスカッション リアクションペーパー	行為の正しさの尺度に関するディスカッションの準備
4	ベンサム功利主義	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.56-75
5	ミルの功利主義	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.75-96
6	功利主義の意義と限界	ディスカッション リアクションペーパー	功利主義の妥当性に関するディスカッションの準備
7	ノージックのリバタリアニズム (自由至上主義)	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.97-110
8	所有権の範囲 —臓器売買の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.110-123
9	自由とそれ以外の道徳的価値の関係	ディスカッション リアクションペーパー	自由主義の妥当性に関するディスカッションの準備
10	市場と道徳	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.124-148

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	契約の有効性の根拠 —代理母出産の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.148-166
12	市場原理の問題点	ディスカッション リアクションペーパー	市場原理の限界に関するディスカッションの準備
13	カントの義務論	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.167-198
14	道徳法則の普遍妥当性 —嘘をつくことの是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.198-223
15	行為の動機と結果	ディスカッション リアクションペーパー	カント倫理学に関するディスカッションの準備
16	ロールズの正義論	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	中間課題提出 教科書 pp.224-246
17	平等という理念	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.246-263
18	不正への対応	ディスカッション リアクションペーパー	ロールズの立場に関するディスカッションの準備
19	アフターマティヴ・アクション	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.264-278
20	正義と美德—入学許可競売の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.278-289
21	多様性確保と分配の正義	ディスカッション リアクションペーパー	公正性の可能性に関するディスカッションの準備
22	アリストテレスの目的論	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.290-314
23	善き生の本質 —奴隷制の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.314-327
24	行為の本質	ディスカッション リアクションペーパー	徳倫理学の意義に関するディスカッションの準備
25	行為の責任	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.328-354
26	マッキンタイアのコミュニタリアニズム (共同体主義)	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.354-381
27	帰属と連帯	ディスカッション リアクションペーパー	共同体主義の妥当性に関するディスカッションの準備
28	正義と共通善	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	教科書 pp.382-394
29	共通善に基づく政治 —同性婚の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	期末課題提出 教科書 pp.395-419
30	他者とともによく生きる	講義・ディスカッション リアクションペーパー	共生の条件に関するディスカッションの準備

テキスト	マイケル・サンデル『これからの「正義」の話しよう』（ハヤカワ文庫）
参考書	加藤尚武『現代倫理学入門』（講談社学術文庫） 伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』（名古屋大学出版会）
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。

科目名	SOC301: 平和と開発					担当教員	V. Thomas
開講期	春	開講時限	火金3限	研究室	4211	オフィスアワー	水2・5限、木3・4限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	Peace, development, poverty eradication, universal education, gender equality, global partnership						
授業の概要	This course deals in detail with the “Millenium Developmet Goals (MDGs)” (ミレニアム開発目標) initiated by the United Nations Organization in the year 2000 and how it is implemented invarious countries until today. The main focus of this course is on the interrelatedness between ‘Peace’ and ‘Development’. Further, this course will concentrate on case studies from developing contries especially Asia and Africa.						
達成目標 および 到達目標	<p><i>Course goals:</i> In this course, students will learn the basic concepts of Peace Studies and Developmental Economics in relation to MDGs; Students will also learn in particular about the eight MDG goals, their twenty one different targets, and the role of International Organizations.</p> <p><i>Learning objectives:</i> By the end of the semester, each student will acquire deeper understanding about economic development, human development, participatory development, sustainable development, poverty eradication, promoting gender equality, improving maternal health, environmental sustainability, universal primary education, reducing child mortality, combating HIV / AIDS, Malaria and other diseases and global partnership.</p>						
評価方法 および 評価基準	<p><i>Categories:</i> Short tests (25%), Presentation (25%), Class participation (25%), Final Report (25%)</p> <p><i>Criteria:</i> To be distributed at the first class.</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Introduction and overview of the course: the role of UN, the UN member countries	lecture, video, reading, discussion	Read <a href="http://www.un.org/en/aboutun/index.shtml">http://www.un.org/en/aboutun/index.shtml</a>
2	Developed countries and developing countries, OCED, G8, G20, BRICS	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises
3	Least developed countries, African Union, African Development Foundation (ADF)	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for short test
4	Introduction to development, relation between development and growth	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises
5	Economic development: infrastructure, wage, saving, investment, GNP, GDP, Per capita	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for short test
6	Human development: education, health, access to income, gender equality	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises
7	Participatory development / Social development: freedom, democracy, H. rights	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for short test
8	The relationship between peace and development	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises
9	Goal 1: Eradicate extreme poverty (1): Halve, by 2015, the people who suffer from hunger	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for short test
10	Goal 1: Eradicate Extreme Poverty and Hunger (2): Food Security Bill, India	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	Goal 1: Eradicate Extreme Poverty and Hunger (3): NREGA, India	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for short test
12	Goal 2: Ensure Universal Primary Education by 2015 (1)	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises
13	Goal 2: Ensure Universal Primary Education by 2015 (2), RTE India	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for short test
14	Goal 2: Ensure Universal Primary Education by 2015 (3), UNICEF	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises
15	Goal 3: Promote gender equality and empower women (1)	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises, prepare for short test
16	Goal 3: Promote gender equality and empower women (2), Global Gender Report	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises
17	Goal 3: (3), UNESCO: Priority Gender Equality Action Plan 2008-2013	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises, prepare for short test
18	Goal 4: Reduce Child Mortality: Reduce the mortality rate of children under five (1)	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises
19	Goal 4: Reduce Child Mortality: UNICEF's role and activities (2)	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises, prepare for short test
20	Goal 5: Improve Maternal Health Reduce maternal mortality ratio (1)	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises
21	Goal 5: Improve Maternal Health (2): UN Women (UNW)	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises, prepare for short test
22	Goal 5: Improve Maternal Health (2): WHO and women's health	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises
23	Goal 6: Combat HIV / AIDS, Malaria and other diseases (1)	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises, prepare for short test
24	Goal 6: Combat HIV / AIDS, Malaria and other diseases (2) WHO and AIDS, IAS, UNAIDS	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises
25	Goal 7: Ensure Environmental Sustainability: sustainable development (1)	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises, prepare for short test
26	Goal 7: Ensure Environmental Sustainability: reduce biodiversity loss (2)	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises
27	Goal 7: Environmental Sustainability: access to safe drinking water and basic sanitation (3)	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises, prepare for short test
28	Goal 8: Develop a Global Partnership for Development (1)	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises
29	Goal 8: Develop a Global Partnership for Development (2): UNEP	lecture, presentation, discussion, short test	Read handouts, do exercises, prepare for short test
30	Post MDGs Conclusion	Lecture, discussion	Final report submission

テキスト	Materials adapted from the Millenium Development Goals Report 2014 will be used for lectures. <a href="http://www.un.org/millenniumgoals/2014%20MDG%20report/MDG%202014%20English%20web.pdf">www.un.org/millenniumgoals/2014%20MDG%20report/MDG%202014%20English%20web.pdf</a>
参考書	Joseph, John & Agustine, Sali. <i>Global Development Study</i> , Puthen research institute (Sophia Univeristy, 2013)
その他特記事項	Since this course is offered entirely in English, students are expected to read the handouts beforehand; check the meaning of new vocabulary, and prepare for discussion in every class.

科目名	LIT323: イギリスの文化と文学				担当教員	山本 浩	
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4212	オフィスアワー	月・木3限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	イギリスの4つの国、英語、階級、教育、キリスト教、芸術、メディア、食文化						
授業の概要	イギリス（連合王国）を構成している England, Scotland, Wales, Northern Ireland とその民族、England の言語である英語の歴史と特徴、イギリス社会の中で階級がもつ意味、イギリスの初等・中等教育と高等教育の歴史と現在、イギリスのキリスト教の歴史、イギリスの芸術（とくに美術と演劇）、イギリスの新聞と放送の特徴、イギリスの食事と紅茶文化について学び、同時に、それに関連した文学作品を読む。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b> イギリスと英語を理解するために、イギリスの文化のいろいろな面について学び、イギリスがどのような国であり、英語がどのような言語であるかが分かるようになることを目的とする。</p> <p><b>【到達目標】</b> イギリスの4つの国とその民族、英語の成り立ち・発展・現状、イギリス社会の階級、イギリスの教育、イギリスのキリスト教、イギリスの芸術、イギリスのメディア、イギリスの食文化について十分な理解があり、また、イギリス文学の中でそれらがどのように扱われているかを作品を通して理解できるようになっていることを到達目標とする。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b> 小テスト 50% 小論文 30% 授業への積極参加 20%</p> <p><b>【評価基準】</b> 小テスト 授業で取り上げた内容をよく理解しているかをみる。 小論文 課題に沿った内容であるか、よく考えられた議論を展開しているかをみる。 授業への積極参加 授業での質問・発言・意見表明などを積極的に行なったかをみる。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	イギリスの4つの国と民族（古代～中世）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	イギリスの4つの国と民族（近代～現代）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	イギリスの4つの国についての評論文	“Being British” の講読と研究	事前に“Being British”を読む
4	英語の歩み（Old English から Middle English へ）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	英語の歩み（Middle English から Modern English へ）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	OE、ME、ModE の実例	OE、ME、ModE の「主の祈り」を読む	事前に「主の祈り」（日本語）を読む
7	小テスト（45分）と1回～6回の授業の復習（45分）	テスト実施と復習	小テストの準備学習をする
8	小テストのふりかえり	小テストの問題に皆で解答する	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
9	イギリス社会の階級（階級とは何か）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
10	イギリス社会の階級（階級と英語）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	D. H. Lawrence, <i>Sons and Lovers</i> に見られる階級	<i>Sons and Lovers</i> の抜粋の講読と研究	事前に <i>Sons and Lovers</i> の翻訳を読む
12	イギリスの教育（初等・中等教育）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	イギリスの教育（高等教育）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	Roald Dahl, <i>Boy</i> に見られるイギリスの教育	Roald Dahl, <i>Boy</i> の抜粋の講読と研究	事前に <i>Boy</i> の翻訳を読む
15	小テスト（45分）と9回～14回の授業の復習（45分）	テスト実施と復習	小テストの準備学習をする
16	小テストのふりかえり	小テストの問題に皆で解答する	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
17	イギリスのキリスト教（古代～中世）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
18	イギリスのキリスト教（宗教改革～現代）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	Graham Greene, <i>The End of the Affair</i> に見られるキリスト教	<i>The End of the Affair</i> の抜粋の講読と研究	事前に <i>The End of the Affair</i> の翻訳を読む
20	イギリスの芸術（美術）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	イギリスの芸術（演劇）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	イギリス演劇の一例として Harold Pinter, <i>Family Voices</i> を読む	<i>Family Voices</i> の講読と研究	事前に <i>Family Voices</i> の翻訳を読む
23	小テスト（45分）と17回～22回の授業の復習（45分）	テスト実施と復習	小テストの準備学習をする
24	小テストのふりかえり	小テストの問題に皆で解答する	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
25	イギリスのメディア（新聞）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	イギリスのメディア（ラジオ・TV）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
27	イギリスの食文化	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
28	George Orwell, “A Nice Cup of Tea” を読む	“A Nice Cup of Tea” の抜粋の講読と研究	事前に “A Nice Cup of Tea” の翻訳を読む
29	小テスト（45分）と小テストのふりかえり	テスト実施、終了後、皆で解答する	小テストの準備学習、そして復習
30	小論文の講評	小論文を返却し講評する	返却された小論文を読み直す

参考書	授業の中で適宜紹介する
その他特記事項	事前にパワーポイントのファイルをダウンロードして、授業前によく読んでおく。授業には、ファイルをプリントしたものを持参する。



科目名	LIT310: 英詩研究				担当教員	飯田 純也	
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4216	オフィスアワー	木2・3・4限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	詩、詩人、モラル、ダンテ、煉獄、死者の声、戦争、平和、内戦、虐殺、イデオロギー						
授業の概要	詩は人類が学んだ教訓を表現する。まず英国の詩の伝統を踏まえた上で、イタリアの詩人ダンテの代表作『神曲』を概観する。次に、ダンテから影響を受けた現代詩人4人の作品を読む。最後に、極限状況で詩を書いた世界の詩人たちの詩を英語訳で読む。グループワークで、彼らの詩が書かれた背景を調べ、次に各自で彼らの詩を解釈し、両者を合わせたものを期末レポート（8,000字）として提出してもらう。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b> 授業の目標は、差別、迫害、暴力、戦争という時代背景を批判的に分析しながら、詩のテキストの中に忘れてはならない教訓を読み取り、自分のことばで表現する能力の獲得である。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絶えず変化する時代の中で変わる価値と変わらない価値を認識できるようになる。</li> <li>・変わらない価値を理解することで、歴史、社会、意識を批判的に考えることができるようになる。</li> <li>・他の人文科学、特に歴史学、政治学、地域研究、国際関係の研究動機を得ることができる。</li> </ul>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b> 1. 小論文の提出は3回で計30% 2. グループ発表は10% 3. 期末レポートは60%</p> <p><b>【評価基準】</b> 別紙参照。詳細は初回授業時に説明する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	授業紹介	講義、質疑応答	課題 DVD 資料の準備
2	詩論 (1) John Donne's "Canonization" etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
3	詩論 (2) Wallace Stevens' "Anecdote of the Jar" etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
4	詩論 (3) William Shakespeare's Sonnet 18 etc.	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
5	詩論 (4) 総括	質疑応答、グループ討論、小論文提出	ノートの整理、小論文の準備
6	詩人論ダンテ (1) <i>The Divine Comedy</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
7	詩人論ダンテ (2) <i>Inferno</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
8	詩人論ダンテ (3) <i>Purgatorio</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート
9	詩人論ダンテ (4) <i>Paradiso</i>	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノート

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	詩人論ダンテ (5) 総括	質疑応答、グループ討 論、小論文提出	ノートの整理、小論文の準 備
11	現代詩人論 (1) W. B. Yeats	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノ ート
12	現代詩人論 (2) W. B. Yeats	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノ ート
13	現代詩人論 (3) Ezra Pound	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノ ート
14	現代詩人論 (4) Ezra Pound	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノ ート
15	現代詩人論 (5) T. S. Eliot	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノ ート
16	現代詩人論 (6) T. S. Eliot	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノ ート
17	現代詩人論 (7) Seamus Heaney	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノ ート
18	現代詩人論 (8) Seamus Heaney	講義、質疑応答	課題資料の予習、要約をノ ート
19	現代詩人論 (9) 総括	質疑応答、グループ討 論、小論文提出	ノートの整理、小論文の準 備
20	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (1) The Holocaust, The Shoah (1933-1945)	講義、質疑応答、グル ープワーク	グループワークの準備
21	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (2) The Holocaust, The Shoah (1933-1945)	講義、質疑応答、グル ープワーク	グループワークの準備
22	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (3) War in the Middle East (1948-1991)	講義、質疑応答、グル ープワーク	グループワークの準備
23	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (4) War in the Middle East (1948-1991)	講義、質疑応答、グル ープワーク	グループワークの準備
24	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (5) War in Korea and Vietnam (1945-1979)	講義、質疑応答、グル ープワーク	グループワークの準備
25	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (6) War in Korea and Vietnam (1945-1979)	講義、質疑応答、グル ープワーク	グループワークの準備
26	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (7) World War II (1939-1945)	講義、質疑応答、グル ープワーク	グループワークの準備
27	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (8) World War II (1939-1945)	講義、質疑応答、グル ープワーク	グループワークの準備
28	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (9) 総括	講義、質疑応答、ディ スカッション	発表の準備
29	詩集 <i>Against Forgetting</i> の詩を読む (10) 学生発表	学生発表 (各グループ 20分)	発表の準備、期末レポート の準備
30	総評・振り返り	ディスカッション、講 評	ノートの整理、期末レポート の準備

テキスト	Carolyn Forché (ed.). <i>Against Forgetting: Twentieth-Century Poetry of Witness</i> (W. W. Norton) 詩のテキスト及び資料を随時配布する
参考書	Dante Alighieri. <i>Divine Comedy</i> (Chartwell Books)

科目名	LNG310: 社会言語学					担当教員	神谷 雅仁
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4215	オフィスアワー	火3限、水2限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	言語コミュニティ、地域方言、社会方言、多言語主義、Style shift、Politeness、文化						
授業の概要	本講は言語学の中でも社会言語学と呼ばれる分野の入門編という位置付けのもと、言語をそれが使われる社会との関係から考察していく。各単元の学習内容は言語選択やポライトネス理論、社会方言といった社会言語学の中でも中核を成す内容を中心に構成される。授業はテキストおよび関連する内容についてのハンドアウトを中心に講義形式で進められ、理解促進のため必ず単元ごとに既習内容のレビューを行う。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】本講で対象となる言語社会は学生にとっての母語である日本語社会、および様々な英語圏の国・地域で使用される英語のコミュニティが中心となるが、ヨーロッパやアジアにおける言語状況などについても概観する。そのため、学生は人が社会の中でどのように言葉を選択し、それを使用しているかについて幅広い、グローバルな視点に立つて考えることができるようになる。</p> <p>【到達目標】上記の達成目標をもとに、本講では学生が言語使用や言語バリエーションに関する様々な概念や理論に触れ、それを理解することで、自らが日々の生活の中でどのように言葉を使い生活しているのか、自分の母語および学習言語がどのような状況に置かれているのか、また自分の言語（特に母語）がどのように自らのアイデンティティを形成しているのかなどについて、客観的に認識できるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】</p> <p>▶理解度テスト1 (35%)、▶理解度テスト2 (35%)、▶Summary Report (20%)、▶授業参加度/提出物 (10%)</p> <p>【評価基準】</p> <p>▶理解度テスト1：学期前半部分の学修内容について、その理解と定着度を確認する。</p> <p>▶理解度テスト2：学期後半部分の学修内容について、その理解と定着度を確認する。</p> <p>▶Summary Report：社会言語学に関する入門書（洋書）から25ページ分を抜粋したプリントを読み、Summary（要約）を日本語でレポートの形式で作成する。用語、概念、理論等が関連する言語例を用いて十分に説明されているかどうかを確認する。</p> <p>▶授業参加度/提出物：授業内での発言・質問（レビュー時）や提出物の出来</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Course overview 本講を概観する	講義、ディスカッション	テキストのまえがきを読む
2	What is Linguistics? 言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション	プリントの予習・復習
3	What is Sociolinguistics? 社会言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、Review session	テキスト (ch. 1)、プリントの予習・復習
4	Multilingualism 多言語社会	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習
5	Diglossia & Domain 2言語併存の状況	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習
6	Code-switching: Why do we code-switch? なぜコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、動画視聴	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習
7	Code-switching: How do we code-switch? どのようにコードスイッチするのか	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習
8	Language death: "Ainu Rebels" 言語の死	講義、ディスカッション、DVD 視聴	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習
9	Language death 言語の死	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	Pidgin and Creole ピジン語とクレオール語：その背景と特徴	講義、ディスカッション、動画視聴	テキスト（ch. 2）、プリントの予習・復習
11	Pidgin and Creole ピジン語とクレオール語：広がりと言語的発達	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 2）、プリントの予習・復習
12	Regional variation: Studies by Labov 地域方言：Labov の調査研究	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 3）、プリントの予習・復習
13	Regional variation: Variation in English 地域方言：英語の地域差	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 3）、プリントの予習・復習
14	World Englishes: Three Concentric Circle 国際語としての英語のバリエーション Review of the first half 前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3）、プリントの予習・復習
15	Review of the first half 前半のまとめ 理解度テスト1	質疑応答、試験実施	理解度テストに向けた準備
16	Social variation: social class 社会方言：社会階級	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 3）、プリントの予習・復習
17	Social variation: gender 社会方言：性差	講義、ディスカッション、ビデオ視聴	テキスト（ch. 3）、プリントの予習・復習
18	Social variation: ethnic group 社会方言：人種・民族	講義、ディスカッション、動画視聴	テキスト（ch. 3）、プリントの予習・復習
19	Social variation: age and generation 社会方言：年齢・年代	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 3）、プリントの予習・復習
20	Audience Design オーディエンス・デザイン	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 4）、プリントの予習・復習
21	Accommodation Theory アコモデーション理論	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 4）、プリントの予習・復習
22	Politeness: Its background ポライトネス：その背景	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 4）、プリントの予習・復習
23	Politeness: B & L's politeness ポライトネス：ブラウン&レビンソン	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 4）、プリントの予習・復習
24	Sexist language use 性差別的言語使用	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 5）、プリントの予習・復習
25	Cross-cultural Communication: Culture 異文化コミュニケーション：文化	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 5）、レジユメの予習・復習
26	Cross-cultural Communication: Context 異文化コミュニケーション：文脈	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 5）、レジユメの予習・復習
27	Cross-cultural Communication: Sapir-Whorf Hypothesis 異文化コミュニケーション	講義、ディスカッション	テキスト（ch. 5）、レジユメの予習・復習
28	Language policy 言語政策 Review of the second half 後半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 5）、レジユメの予習・復習
29	Review of the second half 後半のまとめ 理解度テスト2	質疑応答、試験実施	理解度テストに向けた準備
30	Course review まとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト・レジユメの復習

テキスト	東照二（著）『社会言語学入門』（研究社）
参考書	飯野公一ほか（編）『新世代の言語学：社会・文化・人をつなぐもの』（くろしお出版）
その他 特記事項	本講の履修には「言語学概論」の単位が取得済みであることが望ましい。よって「言語学概論」未修者は履修登録前に担当教員と話をすることがある。

科目名	LNG305: 音声学				担当教員	高橋 絹子	
開講期	春	開講時限	火金1限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	単音、子音、母音、音節、アクセント						
授業の概要	主に音声学の基礎的な理論を学びながら、言語音声の重要性を学ぶ。授業は、パワーポイントを用いた講義形式を主体として進めるがDVD、アイオワ大学の音声学のサイト、CDなどの視聴覚教材も取り入れ、発音、アクセント、イントネーションの実習も行う。音声学全般に関する講義なので、英語だけではなく、日本語の音声に関する内容や日本語の方言についてもふれる。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語に加え、日本語の音声に関する基礎的な理論や知識を習得すること。</li> <li>・英語の面では、習得した理論や知識を実際の発音やリスニングにも反映できるようにすること。</li> </ul> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声学を学ぶことにより、当たり前のように使っている言語に関して、特に音声に関して興味や関心の幅を広げること。</li> <li>・コミュニケーションや言語活動について考えること。</li> <li>・音声に関する疑問を、学習した理論や知識で解決できるようになること。</li> </ul>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】</p> <p>授業への積極的な参加 (20%) 小テスト (40%) 授業内テスト (40%)</p> <p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト：授業の内容を正しく理解できているかどうか。</li> <li>・授業内テスト：学期の基礎事項を正しく学習し、知識が習得できているか。</li> </ul>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	授業紹介・オリエンテーション 音声学とは (1)	講義 リコールチャート	ノート整理
2	音声学とは (2) 調音器官 (1)	講義 リコールチャート	音声器官を見てくる。
3	調音器官 (2)	講義 リコールチャート	単語の音声記号を調べる。
4	音声の発動 IPA と音声記号 (1)	講義 リコールチャート	テキスト1章を読む。
5	IPA と音声記号 (2) 単音の分類 (1)	講義 リコールチャート	テキスト2章を読む。
6	単音の分類 (2) ここまでのまとめと復習 (1)	講義 リコールチャート	「音声学のまとめ」の記入
7	小テスト (1)・母音の分類	講義・発音実習 リコールチャート	ノート整理
8	英語の母音	講義・発音実習 リコールチャート	ノート整理
9	日本語の母音	講義 リコールチャート	テキスト2章を読む。
10	ここまでのまとめと復習 (2) IPA と音声記号 (3)	講義 リコールチャート	「音声学のまとめ」の記入

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	小テスト (2)・子音の分類 (1) (調音の方法)	講義・発音実習 リコールチャート	発音練習・テキスト 2 章を読む。
12	子音の分類 (2) (調音の場所)	講義・発音実習 リコールチャート	発音練習・テキスト 2 章を読む。
13	子音の分類 (3) (IPA チャート)	講義・発音実習 リコールチャート	発音練習・テキスト 2 章を読む。
14	ミニマルペア・発音練習 日本語の子音 (1)	講義・発音実習 リコールチャート	発音練習
15	日本語の子音 (2) ここまでのまとめと復習 (3)	講義・発音実習 リコールチャート	「音声学のまとめ」の記入
16	小テスト (3)・日本語の音韻体系 音節 (1)	講義 リコールチャート	テキスト 4 章を読む。
17	音節 (2)・モーラ	講義 リコールチャート	テキスト 4 章を読む。
18	イギリス英語の発音と米語の発音	講義 リコールチャート	発音練習
19	世界の英語、世界の言語	講義 リコールチャート	ノート整理
20	アクセントの分類	講義・CD リコールチャート	テキスト 5 章を読む。
21	英語の語アクセント (1) 複合語のアクセント	講義・CD リコールチャート	発音練習・テキスト 5 章を読む。
22	英語の語アクセント (2) 接尾辞のアクセント	講義・CD リコールチャート	発音練習・テキスト 5 章を読む。
23	英語の文アクセント	講義・CD リコールチャート	発音練習・テキスト 5 章を読む。
24	英語のイントネーション	講義・CD リコールチャート	発音練習・テキスト 5 章を読む。
25	ここまでのまとめと復習 (4)	講義 リコールチャート	「音声学のまとめ」の記入
26	小テスト (4)・日本語のアクセント	講義 リコールチャート	テキスト 5 章を読む。
27	日本語の方言 実演	講義・学生発表 (各地 方言)	テキスト 5 章を読む。
28	ここまでのまとめと復習 (5)	講義 リコールチャート	テキスト 4・5 章を読む。
29	授業内テスト 総まとめ・日本語と英語の違い	講義 リコールチャート	「音声学のまとめ」の記入
30	振り返りと総括・質疑応答	講義 リコールチャート	ノート整理

テキスト	窪園晴夫『音声学・音韻論』（くろしお出版）
参考書	牧野武彦『日本人のための英語音声学レッスン』（大修館書店） 斉藤純男『日本語音声学入門（改訂版）』（三省堂）
その他 特記事項	小テストは復習の次の週を目安として実施。ただし実施日は移動する可能性あり。小テストの追試は基本的には実施しない。

科目名	LNG330: 日本語学				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4217	オフィスアワー	月・火3限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	日本語の音韻論、統語論、語用論、社会言語学						
授業の概要	日本語のしくみについて、音韻論、統語論、形態論、意味論、語用論、社会言語学等の分野別に学ぶ。例えば、音韻論では、日本語の母音や子音の種類と分布の特徴、アクセントの型などを学び、統語論では文の構造について、形態論では語の成り立ちや動詞の活用について学ぶ。授業では、講義だけではなく毎回ディスカッションの時間を設け、文法の暗記ではなく自分達で日本語の構造を考えていく。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 本科目は、日本語学習者から見た日本語の構造を理解し、説明する知識を身につけることを目的としている。</p> <p>【到達目標】          高校まで習ってきた学校文法とは異なる文法へのアプローチを身に付け、日本語をひとつの言語として客観的に捉えられるようになる。日本語と英語の構造や言語使用の語用論的な違い、世代差や地域差などを分析し、データや例文を提示しながら記述できるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】          授業への積極参加 20%、小テスト 30%、授業内試験 50%</p> <p>【評価基準】          授業への参加：授業内のディスカッションや発言を評価する。          小テスト：高校まで習ってきた学校文法とは異なる文法理解を評価する。          授業内試験：日本語をひとつの言語として客観的に捉え、日本語の言語使用をデータや例文を提示しながら記述できるかどうか評価する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	日本語学について	講義、ディスカッション、質疑応答	「日本語学について」の章を読んで復習
2	音声・音韻 1 －音素とは / 日本語の母音と子音	講義、ディスカッション、質疑応答	「音声・音韻」の章を読み、音声記号を暗記
3	音声・音韻 2 －日本語の異音	講義、ディスカッション、質疑応答	50音表の音声記号を用いて書く
4	音声・音韻 3 －日本語のアクセント	講義、ディスカッション、質疑応答	アクセントの章を読む
5	前回までの復習	小テスト及びテストの解説、形態論導入	次回の予習と復習
6	形態論 1 －学校文法の動詞の活用と問題点	講義、ディスカッション、質疑応答	「形態論」の章全体を読む
7	形態論 2 －日本語教育で使用する動詞の活用	講義、ディスカッション、質疑応答	学校文法の動詞表と新たに習ったものを比較
8	形態論 3 －「て形」のルールを探す	講義、ディスカッション、質疑応答	上記を暗記する
9	形態論 4 －形容詞の活用	講義、ディスカッション、質疑応答	形容詞の活用を覚える
10	格 1 －格助詞	講義、ディスカッション、質疑応答	「格」の章全体を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	格2 －意味の格：深層格	講義、ディスカッション、質疑応答	次回の章をもう一度読む
12	形態論と格の復習	小テスト及びテストの解説、受け身導入	第6回以降の復習
13	受け身1 －視点について	講義、ディスカッション、質疑応答	「受け身」の章全体を読む
14	受け身2 －日本語の受け身の種類と機能	講義、ディスカッション、質疑応答	受け身の機能を整理する
15	使役 －使役の構造と機能	講義、ディスカッション、質疑応答	「使役」の章全体を読む
16	授受表現1 －英語と日本語の違い	講義、ディスカッション、質疑応答	「授受表現」の章全体を読む
17	授受表現2 －授受表現と文化	講義、ディスカッション、質疑応答	授業の復習
18	受け身・使役と授受表現の復習	小テスト及びテストの解説、テンス導入	第13回以降の復習
19	テンス 過去と非過去	講義、ディスカッション、質疑応答	「テンス」の章全体を読む
20	アスペクト －「ている」の機能	講義、ディスカッション、質疑応答	「アスペクト」の章全体を読む
21	敬語1 －尊敬語と謙譲語	講義、ディスカッション、質疑応答	「敬語」の章全体を読む
22	敬語2 －美化語、丁重語	講義、ディスカッション、質疑応答	敬語の種類をまとめる
23	「は」と「が」 主題と主語の違い	講義、ディスカッション、質疑応答	該当する教科書の章を読む
24	テンス・アスペクト・敬語・「は」と「が」の復習	小テスト及びテストの解説、次回の導入	第19回以降の復習
25	バリエーション1 －社会言語学	講義、ディスカッション、質疑応答	「バリエーション」の章全体を読む
26	バリエーション2 －ら抜き言葉	講義、ディスカッション、質疑応答	「ら抜き言葉」について考察し記述する
27	バリエーション3 －若者言葉	講義、ディスカッション、質疑応答	「若者言葉」について考察し記述する
28	記述問題の答え方 「ら抜き言葉」と「若者言葉」について	講義、ディスカッション、質疑応答	記述の練習
29	授業内記述試験と解説	講義、試験の解説と質疑応答	全体の復習
30	学期のまとめ	質疑応答	全体の復習

テキスト	庵功雄『新しい日本語入門一言葉のしくみを考える』（スリーエーネットワーク）
参考書	庵功雄他『やさしい日本語』（スリーエーネットワーク）
その他特記事項	言語学系大学学部へ編入学希望者を前提とした記述試験対策を授業内で行う。



科目名	ENG360: 英語史					担当教員	山本 浩
開講期	秋	開講時限	月木4限	研究室	4218	オフィスアワー	月木3限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	英語の史的理解、標準英語と多様な英語、英語と階級・文学・宗教・政治・メディア						
授業の概要	現代の国際語としての英語の考察から始め、同時に地球の様々な地域で発達する英語について視野を広げてゆく。その後、英語の歴史的変化の問題を扱ってゆく。中心的な問題は、古英語、キリスト教文献、ノルマン語の流入と中英語への変化、中英語の詩及び劇、印刷技術の発達、近代英語の発達とシェイクスピアの英語、近現代の英語、英語と階級、アメリカ英語を扱う。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b> 古英語、中英語、近代英語、現代英語の特徴を理解し、語彙、文法、発音等の身近な問題について歴史的観点から理解することを主な目的とする。英語史に必要な用語・概念を英語で理解し、英語による文献読解力を身につける。そして英語の発達を、英国史、世界史、英文学史と繋げる視点と知識を得る。</p> <p><b>【到達目標】</b> 英語という言語内の個々の単語、文法、表現を、それらの背後にある歴史的事象等と密接に結びつけ、言語を重層的に理解出来るようになる。英語史発展と関連が深い英国史、世界史、英文学史上の事象についても基本的知識を持つ。英語文献の正確な理解を、語彙、文法、文章構造の理解等と共に出来るようにする。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b> 授業参加 30% 授業内容の理解度を確認する小テスト 70%</p> <p><b>【評価基準】</b> 古英語、中英語、近代英語のそれぞれの特徴と、英語の変遷に関する知識を得ているか、また、英国史、世界史、英文学史と英語の歴史との関係についての知識を得ているかが評価される。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	英語の現在	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	ケルト人、ローマ人、ゲルマン人	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	比較言語学とインド・ヨーロッパ語族	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
4	インド・ヨーロッパ祖語、ゲルマン語、英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	ゲルマン人と古英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	デーン人の侵略	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
7	古英語の特徴	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
8	古英語の文学	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
9	小テスト（45分）と1回～8回の授業の復習（45分）	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
10	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	ノルマン征服と中英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
12	中英語の特徴	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	中英語の文学	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	大母音推移	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
15	印刷術の発達	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
16	小テスト（45分）と11回～15回の授業の復習（45分）	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
17	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
18	ヨーロッパとイングランドのルネッサンス	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	エリザベス朝と宗教改革	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
20	近代英語の始まりとシェイクスピア	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	聖書の英語訳	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	英語の規範化	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
23	小テスト（45分）と17回～22回の授業の復習（45分）	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
24	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
25	Queen's English, BBC English, RP	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	英語と階級	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
27	英語の方言	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
28	アメリカ英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
29	小テスト（45分）と25回～28回の授業の復習（45分）	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
30	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習

テキスト	特定の教科書は使用しない。事前に配布されるパワーポイント資料を事前にプリントして予習し、授業の時に持参する。
参考書	中尾俊夫『英語の歴史』講談社現代新書 0958（講談社、1989年） 寺澤盾『英語の歴史—過去から未来への物語』中公新書 1971（中央公論新社、2008年） メルヴィン・ブラッグ『英語の冒険』講談社学術文庫 1869（講談社、2008年） 中尾俊夫・寺島廸子『図説 英語史入門』（大修館書店、1988年） その他の参考書は、授業中に随時紹介する。

科目名	LNG320: バイリンガル教育				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	秋	開講時限	月木4限	研究室	4217	オフィスワー	月・火3限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	バイリンガル、母語、継承語、アイデンティティ						
授業の概要	授業では、バイリンガルの言語習得や文化習得に関する応用言語学の理論とバイリンガル教育の方法、日本と海外のマルチリンガル教育の現状について学ぶ。授業は教科書に従って、各章の要約を順番に口頭で発表したのち、講義とディスカッションを中心に進める。知識の定着を図るために、章ごとに10問から20問程度の小テストを行う。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 本科目は、バイリンガルの言語発達や言語教育の方法を理解することを目的としている。</p> <p>【到達目標】 学期が終わるころには、バイリンガルとモノリンガルの言語発達の違いや特徴、教育方法が理解できるようになる。自分自身の英語学習や多言語環境にある人々の言語とアイデンティティなど、バイリンガリズムに関する問題についても専門的な知見を用いて分析し記述できるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】 授業への積極参加 15%、発表 5%、小テスト・宿題 40%、授業内試験（記述式） 40%</p> <p>【評価基準】 授業への積極参加：発言やディスカッションへの貢献を評価する。 発表：担当する章全体を予習して、担当部分のポイントを口頭で発表する。 小テスト・宿題：理論や専門用語など授業内容の基礎的な理解を評価する。 授業内試験（記述式）：バイリンガルとモノリンガルの言語発達の違いや特徴、教育方法が理解し、バイリンガリズムに関する現象や政策、問題等についても専門的な知見を用いて分析し記述できるか評価する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	第1章 バイリンガルとは 母語と第2言語の違いについて	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書第1章前半を読む、ノートまとめる
2	第1章 バイリンガルとは バイリンガルのタイプ	講義、ディスカッション、質疑応答	第1章後半を読んで、ノートにまとめる
3	小テスト グローバル化と人の移動	小テストと解説 ディスカッション	小テストの準備
4	第2章 子どもの母語の発達と年齢 保護者の役割	講義、発表、ディスカッション	第2章前半を読んで、ノートにまとめる
5	第2章 子どもの母語の発達と年齢 臨界期とは	講義、発表、ディスカッション	第2章後半を読んでノートにまとめる
6	第3章 バイリンガル教育の理論 2言語共有説	小テストと解説 講義、発表	小テストの準備
7	第3章 バイリンガル教育の理論 2言語相互依存の原則	講義、発表、ディスカッション	第3章前半を読んでノートにまとめる
8	第3章 バイリンガル教育の理論 社会心理的要因と言語の発達	講義、発表、ディスカッション	第3章後半を読んでノートにまとめる
9	小テスト バイリンガル環境に育った人の語り	小テストと解説 ディスカッション	小テストの準備
10	第4章 家庭で育てるバイリンガル 言語の使い分け	講義、発表、ディスカッション	第4章前半を読んでノートにまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	第4章 家庭で育てるバイリンガル 2言語の干渉	講義、発表、ディスカ ッション	第4章後半を読んでノート にまとめる
12	第5章 イメージョン方式のバイリンガル 教育：カナダのフレンチイメージョン	小テストと解説	小テストの準備
13	第5章 イメージョン方式のバイリンガル 教育：イメージョン方式の種類	講義、発表、ディスカ ッション	第5章前半を読んでノート にまとめる
14	第5章 イメージョン方式のバイリンガル 教育：イメージョン方式の成果と課題	講義、発表、ディスカ ッション	第5章後半を読んでノート にまとめる
15	第6章 アメリカのバイリンガル教育 バイリンガル教育の歴史	小テストと解説	第6章前半を読んでノート にまとめる
16	第6章 アメリカのバイリンガル教育 イメージョン方式の外国語教育	講義、発表、ディスカ ッション	第6章後半を読んでノート にまとめる
17	第7章 海外子女とバイリンガル教育 全日制日本人学校	小テストと解説	小テストの準備
18	第7章 海外子女とバイリンガル教育 現地校と補習校	講義、発表、ディスカ ッション	第7章前半を読んでノート にまとめる
19	第8章 日系人子女とバイリンガル教育 継承語としての日本語教育	小テストと解説	小テストの準備
20	第8章 日系人子女とバイリンガル教育 継承語プログラムの問題点	講義、発表、ディスカ ッション	第8章を読んでノートにま とめる
21	小テスト バイリンガル環境に育った人の語り	小テストと解説 ディスカッション	小テストの準備
22	第9章 バイリンガルと文化の習得 文化の差と年齢	講義、発表、ディスカ ッション	第9章前半を読んでノート にまとめる
23	第9章 バイリンガルと文化の習得 2言語の習得とアイデンティティ	講義、発表、ディスカ ッション	第9章後半を読んでノート にまとめる
24	小テスト バイリンガル環境に育った人の語り	小テストと解説 ディスカッション	小テストの準備
25	第10章 バイリンガル教育への疑問 バイリンガル育成の課題	講義、発表、ディスカ ッション	第10章前半を読んでノート にまとめる
26	第10章 バイリンガル教育への疑問 バイリンガル有利説	講義、発表、ディスカ ッション	第10章後半を読んでノート にまとめる
27	第11章 バイリンガル教育の外国語教育 への貢献：応用言語学理論の応用	講義、発表、ディスカ ッション	第11章前半を読んでノート にまとめる
28	第11章 バイリンガル教育の外国語教育 への貢献：語学教育の方法への応用	講義、発表、ディスカ ッション	第11章後半を読んでノート にまとめる
29	期末テストと解説	質疑応答	期末テストの準備
30	まとめ	解説	学期の振り返り

テキスト	中島和子 1998 『バイリンガル教育の方法』(アルク)
------	------------------------------

科目名	PSY301: 発達心理学				担当教員	森崎 ひろみ	
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	生涯発達心理学、発達、子ども、青年、大人、老人、臨床、研究						
授業の概要	テキストを参照しながら、心理学研究の成果に基づいて乳幼児から老人まで人間の生涯にわたる成長発達を辿ります。基礎をテキストの予習にて習得する他、授業内では重要なテーマを取り上げて理解を深めます。時間の経過とともに変化する人間の成長・発達の不思議に関心を持ち、人間理解に新しい視点を加えることができます。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b> 人間の一生を発達の観点から理解する目標とします。時間の経過に伴う心と行動の変化、及びそれぞれの時期・段階に応じた心と行動の特徴を学びます。春学期に学んだ心理学の知識を発達的に広げ応用して考えます。</p> <p><b>【到達目標】</b> 発達心理学の基本的な用語や知識を習得すること、発達の思考を身につけること、テーマに沿って論理的に考えを展開できるようになること、発達心理学の臨床的な問題を身近な問題として考え、学んだ知識を応用できるようになること。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b> 授業毎のリアクションペーパー50% 中間課題（1,000字程度のレポートを2回）30% 期末課題（2,000字程度のレポートを1回）20%</p> <p><b>【評価基準】</b> リアクションペーパー：授業で学習したポイントを理解し、自分の視点から適切にまとめ展開できることを評価する。 中間課題：設問について正しく理解して自分の言葉で論述展開できることを評価する。 期末課題：心理学の基礎的な知識を理解した上で、一つのテーマを選び、自分なりに調べ論述展開できることを評価する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	オリエンテーション 授業の進め方等 生涯発達心理学について	講義 リアクションペーパー	ノート準備
2	心の一生をどう捉えるか (1) 生涯発達の視点	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.1-21 の予習
3	心の一生をどう捉えるか (2) 生涯発達の理論	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.1-21 の予習
4	心の一生をどう捉えるか (3) 発達の影響要因	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.1-21 の予習
5	乳児期 (1) 乳児の発達の特徴：心身の成長	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.23-45 の予習
6	乳児期 (2) 乳児の発達課題：基本的信頼感	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.23-45 の予習
7	幼児期 (1) 幼児の発達の特徴：自我の発達	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.47-67 の予習
8	幼児期 (2) 幼児の発達課題：自律と自主	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.47-67 の予習
9	児童期 (1) 児童の発達の特徴：学びと社会化	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.69-85 の予習
10	児童期 (2) 児童の発達課題：仲間と学校	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.69-85 の予習 中間(第1回) レポート提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	レポートの発表 評価と課題	発表 質疑 リアクションペーパー	ワークシート配布
12	思春期 (1) 思春期の発達の特徴：心身の変化	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.87-111 の予習
13	思春期 (2) 思春期の発達課題：子どもから大人へ	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.87-111 の予習
14	青年期 (1) 青年期の発達の特徴：自分との出会い	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.113-129 の予習
15	青年期 (2) 青年期の発達課題：社会への模索	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.113-129 の予習
16	青年期 (3) 青年期の臨床的問題：発達のつまずき	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.113-129 の予習
17	成人初期 (1) 成人初期の発達の特徴：社会人として	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.131-151 の予習
18	成人初期 (2) 成人初期の発達課題：職業と家庭	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.131-151 の予習
19	成人初期 (3) 成人初期の臨床的問題：親になること	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.131-151 の予習 中間(第2回) レポート提出
20	レポートの発表 評価と課題	発表 質疑 リアクションペーパー	ワークシート配布
21	成人中期 (1) 成人中期の発達の特徴：人生の最盛期	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
22	成人中期 (2) 成人中期の発達課題：人生の問い直し	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
23	成人中期 (3) 成人中期の臨床的問題：中年の危機	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
24	成人後期 (1) 成人後期の発達の特徴：衰え	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
25	成人後期 (2) 成人後期の発達課題：自我の統合	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
26	成人後期 (3) 成人後期の臨床的問題：死への準備	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
27	人生を展望する (1) 各発達段階におけるつまずき	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
28	人生を展望する (2) ライフサイクル	講義 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習 中間(第3回) レポート提出
29	レポートの発表 評価と課題	発表 質疑 リアクションペーパー	ワークシート配布
30	発達心理学のまとめ 質疑と補足	発表 質疑 講義補足 リアクションペーパー	ワークシート配布

テキスト	岡本祐子／深瀬裕子編著『生涯発達心理学』（ミネルバ書房）
履修条件、 前提科目	春学期に心理学の講義を受講していることが望ましい。

科目名	LNG325: 第二言語習得					担当教員	T. Gould
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4209	オフィスアワー	火1限、水3限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	Second Language Acquisition, Linguistics, Language Learning						
授業の概要	The overall objective of this course is for students to learn the foundations of Second Language Acquisition. Students will also learn to conduct basic research using both provided data and data they collect themselves. Students will learn to create transcripts from their data and, most importantly, they will learn to analyze their data. Conducting this analysis will enable students to learn to synthesize the contents of the lectures and textbook with real world language use. Projects in this course will help students to learn to understand and improve their own second language learning process.						
達成目標 および 到達目標	<p><i>Course goals:</i> In this course, students will learn and use the vocabulary necessary to understand class lectures and discuss SLA topics with other class members. Students will learn to transcribe linguistic data, beginning with a Japanese-Japanese conversation. They will then learn to analyze their own second language production by transcribing and analyzing a sample of a conversation in English with other class members. Finally, for their final project, students will learn to put their knowledge to use by transcribing and analyzing data from an English speaker learning Japanese.</p> <p><i>Learning objectives:</i> By the end of this course, students should be able to transcribe and analyze second language data from both English and Japanese. Students should also be able to discuss the basic processes of second language acquisition in terms that we have studied during the semester.</p>						
評価方法 および 評価基準	<p><i>Categories:</i> Small Project 15%, Mid-Term Project 25%, Final Project 30%, Assessment 30%.</p> <p><i>Criteria:</i> Small Project: display understanding of SLA transcription methods as applied to Japanese conversation; Mid-Term Project: successfully complete full transcription of participant oriented video of English conversation, complete analysis of transcription including reference to text issues from video; Final Project: successfully complete transcription and analysis of video of acquisition of Japanese as second language; Assessment: for each of three tests, correctly answer test questions to display knowledge of covered content.</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Introduction: Describing and explaining L2 acquisition	Lecture; pair-work; group-work	Read SLA: Chapter 1; groups for project 1
2	Goals of SLA; Investigating two case studies; importance of case studies	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 1; practice En conversation
3	Methodological issues; description of learner language; explanation of learner language	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 2; practice E conversation
4	Nature of learner language; error and error analysis; mistakes vs. errors	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 2; record 5 min. J. conversation
5	Developmental patterns; silent period; order and sequence of acquisition	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 2; prepare 1 min. sample transcript
6	Variability in learner language; free variation; fossilization	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 2; rough draft and analysis points
7	Interlanguage; changeable grammar of second language learners	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 3; complete final draft
8	Mentalist theory of language learning; interlanguage continuum	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 3; Project 1 due in class
9	Review and Test	Short lecture; take test	Study for test
10	Social aspects of interlanguage; social distance	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 4; meet w / group-practice conv.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	Interlanguage as a stylistic continuum; casual vs careful speech	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 4; meet w / group-practice conv.
12	Acculturation model of L2 acquisition; further accounts of SL variation	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 4; record 5 min E. conversation
13	Social identity and investment in L2 learning; investment metaphor	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 4; distribute data to group
14	Discourse aspects of interlanguage; acquiring discourse rules	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 5; prepare 1 min sample transcript
15	Role of input and interaction in L2 acquisition; enhanced computational model	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 5; continue on transcript
16	Foreigner talk; negotiation of meaning; Krashen's Input Hypothesis	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 5; show outline and analysis pts.
17	Comprehensible input; interaction hypothesis	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 5; mid-term project due in class
18	Negative evidence; scaffolding; zone of proximal development	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 5; organize groups for final
19	Role of output in L2 acquisition; Krashen's monitor (continued)	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 5; distribute data files
20	Review and Test	Short lecture; take test	Study for test
21	Significance of motivation; explanation of variability in learner outcomes	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 8; prepare sample 1 minute trans.
22	Types of motivation; instrumental motivation; integrative motivation	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 8; prepare sample 1 minute trans.
23	Types of motivation (cont'd); resultative motivation; intrinsic motivation	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 8; work on transcribing data
24	Understanding and using learning strategies; some types of strategies; behavioral strategies	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 8; continue transcribing
25	Learning strategies (cont'd); mental strategies; instruction and L2 acquisition	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 8; begin English gloss of trans.
26	Form-focused Instruction; effectiveness of Form-focused Instruction	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 9; complete English gloss
27	Teachability hypothesis; production-based instruction; input-based instruction	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 9; finish transcript
28	Learner-instruction matching; strategy training; individual differences in aptitude; variability	Lecture; pair-work; group-work	SLA: Chapter 9; rough outline of analysis pts.
29	Review and Test	Short lecture; take test	Prep final draft w / analysis
30	Conclusion: multiple perspectives in SLA	Lecture; pair-work; group-work	Project due in class

テキスト	Rod Ellis. <i>Second Language Acquisition</i> (Oxford University Press)
参考書	Any basic Introduction to Second Language Acquisition book in Japanese



科目名	EDU300: 児童英語教育演習 A				担当教員	尾関 はゆみ	
開講期	春	開講時限	月1・2限	研究室	4号館2階講師控室		
分類	選択	単位	4	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	児童英語教育、言語習得、模擬授業、サービスラーニング活動、実践						
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校の現場での使用を想定した指導案を作成し、模擬授業を行う。合わせて実践の場として、サービスラーニング枠で行うイングリッシュ・フレンド活動を活用する。授業実践での気づきと振り返りをもとに指導案を改善し、次の授業実践に活かす方法を体得する。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】児童英語の指導に必要な知識を身につけ、それをどのように実践に結びつけるかを知る。サービスラーニング活動での実践の機会を活用して、小学校での英語活動の目的と意義に沿った指導案を作成し、グループによる指導実践ができるようになる。</p> <p>【到達目標】児童英語教育の基礎知識を活かし、小学校での英語活動指導を行うことができる。グループ活動として指導案作成、教材作成、模擬授業の準備を行い、相互評価と講評による振り返りを通して、基礎的な教案作成力、指導力を身につける。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、学習者の認知発達や特性を考慮した指導案を立てることができる。作成した指導案をもとに、適切な教材・教具を作成する方法を実践を通して学ぶ。指導案と指導方法を検証、評価し改善する方法がわかる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】①出席時の授業参加姿勢（40%）、②教案作成（20%）、③模擬授業（20%）、④期末課題（20%）の比率に基づいて総合的に評価する。</p> <p>【評価基準】①出席時の授業参加姿勢においては、授業内のすべての活動に対する前向きで協調的な取り組み、ことにグループワーク等への参加、グループへの協力、活動に主体的に関わる姿勢を評価する。②教案作成では、学習者の特性を考慮した適切な内容のコミュニケーション型教案作成に貢献したかどうかを評価する。③模擬授業では、適切な teacher talk の使用、アクティビティの運用のスムーズさ、準備と練習をしたかどうかを評価する。④期末課題は、これまでの省察が生かされた内容で具体的な改良改善提案があることが評価の基準となる。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	児童英語教育とは これまでの学習内容と前提知識の確認	講義 グループワーク	既習科目の内容復習 (自宅学習)
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論	講義、学生発表 グループワーク	テキスト2を読み、リアクションペーパー作成
3	児童英語教育の背景となる発達理論	講義、学生発表 グループワーク	発表準備
4	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践	講義、学生発表 グループワーク	発表準備
5	コミュニケーション能力の育成 Communicative Language teaching の観点から	講義、学生発表 グループワーク	発表準備
6	これまでの英語教育とこれからの英語教育	講義、学生発表 グループワーク	発表準備
7	学習指導要領と小学校教育における外国語活動の位置づけ	講義、学生発表 グループワーク	テキスト1①②の概要レポート作成準備
8	小学校における英語活動の特徴	講義、学生発表 グループワーク	テキスト1①②の概要レポート作成
9	学年(年齢)・学習経験・子ども特有の要因	講義、学生発表 グループワーク	テキスト1①②の概要レポート作成
10	モデル指導案①の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備
11	モデル指導案①の実践練習(1) Classroom English の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
12	モデル指導案①の実践練習（2） 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習
13	モデル指導案②の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備
14	モデル指導案②の実践練習（1） Classroom English の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習
15	モデル指導案②の実践練習（2） 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習
16	指導案作成に向けて：言語材料の選び方	指導実践、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる レポート作成
17	指導案作成に向けて：言語材料のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる レポート作成
18	指導案作成に向けて：言語活動のポイント	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる レポート作成
19	指導案作成に向けて：言語活動のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる レポート作成
20	グループでの指導案作成	グループワーク	発表準備
21	グループでの教材・教具作成	グループワーク	発表準備
22	模擬授業発表（1）・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 リアクションペーパー
23	模擬授業発表（2）・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 リアクションペーパー
24	模擬授業発表（3）・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 リアクションペーパー
25	模擬授業発表（4）・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 リアクションペーパー
26	模擬授業発表（5）・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 リアクションペーパー
27	模擬授業発表（6）・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 リアクションペーパー
28	模擬授業発表（7）・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 リアクションペーパー
29	模擬授業発表（8）・相互評価と講評	学生発表、相互評価、 講評	発表準備と実践練習 リアクションペーパー
30	振り返りとまとめ	講義、講評 グループワーク	期末課題準備・作成

テキスト	1. 文部科学省『Hi! Friends ①』、『Hi! Friends ②』（東京書籍） 2. 文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』（東洋館出版）
参考書	金森強『英語であなたの子どもが変わる！』（研究社） 上智大学 CLT プロジェクト編『コミュニケーション型英語教育を考える』（アルク）
履修条件、 前提科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>この授業を履修する学生は、木曜1・2限のサービスラーニング枠には他の授業を入れないこと。サービスラーニング枠を活用した小学校でのイングリッシュ・フレンド活動に参加し、この授業で作成した指導案を用いることにより指導の実践も体験できる。</li> <li>この授業の履修には、「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」、「第二言語習得」のいずれかを修了している必要がある。</li> </ul>
その他 特記事項	「児童英語教育演習 B」と両方の履修が可能である。A と B の履修順序は問わない。

科目名	EDU301: 児童英語教育演習 B				担当教員	狩野 晶子	
開講期	秋	開講時限	月1・2限	研究室	4203	オフィスアワー	月3限、水5限、木3限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	児童英語教育、言語習得、模擬授業、サービ斯拉ーニング活動、実践						
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項を踏まえて実践へと結びつける。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校の現場での使用を想定した指導案を作成し、模擬授業を行う。併せて実践の場としてサービ斯拉ーニング枠を活用したイングリッシュ・フレンド活動を活用する。授業実践での気づきと振り返りをもとに指導案の改善をし、次の授業実践に生かす方法を体得する。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】児童英語の指導に必要な知識を身につけ、それをどのように実践に結びつけるかを学ぶ。サービ斯拉ーニング活動での実践の機会を活用してグループ指導が行えるよう小学校での英語活動の目的と意義に沿った指導案を作成、実践できる力を養う。指導案と指導方法を検証、評価し改善する方法を学ぶ。</p> <p>【到達目標】児童英語教育の基礎知識を活かし、児童への英語活動指導を行うことができる力を養う。指導案作成、教材作成、模擬授業の準備を行い、相互評価と講評による振り返りを通して教案作成力、指導力を養う。第二言語習得理論の知識をもとに、学習者の認知発達や特性を考慮した指導案の立て方を学ぶ。作成した指導案をもとに適切な教材・教具を作成する方法を実践を通して学ぶ。実践を振り返り、改善点を見出し、それを次のより良い実践へとつなげる自律的な学びのプロセスを体得する。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】①出席時の授業参加姿勢（40%）、②教案作成（20%）、③模擬授業（20%）、④期末課題（20%）の比率に基づいて総合的に評価する。</p> <p>【評価基準】①出席時の授業参加姿勢においては授業内のすべての活動に対する前向き、協調的な取り組み、ことにグループワーク等への積極的な参加、グループへの協力、活動に主体的にかかわる姿勢を評価する。②教案作成（20%）では学習者の特性を考慮したコミュニケーション的な内容の教案が作成できたか、グループでの教案作成作業に積極的に参加し貢献したかを評価する。③模擬授業では適切な teacher talk の使用、アクティビティの運用のスムーズさを実現するための準備と練習を十分にしたかどうかを評価される。④期末課題は毎回のサービ斯拉ーニング活動におけるこれまでの省察をもとに、具体的な改良改善提案、その実現及び評価の過程が明確であることが求められる。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	児童英語教育とは これまでの学習内容と前提知識の確認	講義 グループワーク	既習科目の内容復習 (自宅学習)
2	コミュニケーション能力の育成 Communicative language teaching とは	講義、学生発表 グループワーク	テキスト②を読みリアクションペーパー作成
3	児童英語教育の背景となる言語習得理論 (1)	講義、学生発表 グループワーク	テキスト①を通読 発表準備
4	児童英語教育の背景となる言語習得理論 (2)	講義、学生発表 グループワーク	テキスト①の実践練習 発表準備
5	児童英語教育の背景となる言語習得理論 (3)	講義、学生発表 グループワーク	発表のフィードバック作成 (SNSに共有)、発表準備
6	児童英語教育の背景となる言語習得理論 (4)	講義、学生発表 グループワーク	発表のフィードバック作成 (SNSに共有)、発表準備
7	これまでの英語教育とこれからの英語教育	講義、学生発表 グループワーク	テキスト1①②の概要レポート作成準備
8	小学校における英語活動の特徴	講義、学生発表 グループワーク	テキスト1①②の概要レポート作成
9	学年(年齢)・学習経験・子ども特有の要因	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる レポート作成
10	モデル指導案の研究(1)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表のフィードバック作成 (SNSに共有)、発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	モデル指導案の実践練習と改良 (1)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表のフィードバック作成 (SNSに共有)、実践練習
12	モデル指導案の研究 (2)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表のフィードバック作成 (SNSに共有)、発表準備
13	モデル指導案の実践練習と改良 (2)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表のフィードバック作成 (SNSに共有)、実践練習
14	モデル指導案の実践練習と改良 (3)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表のフィードバック作成 (SNSに共有)、実践練習
15	モデル指導案の実践練習と改良 (4)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表のフィードバック作成 (SNSに共有)、実践練習
16	モデル指導案の実践練習と改良 (5)	指導実践、学生発表 グループワーク	発表のフィードバック作成 (SNSに共有)、実践練習
17	指導案作成に向けて： 言語材料の選び方	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる レポート作成、SNS共有
18	指導案作成に向けて： 言語材料のバリエーション (1)	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる レポート作成、SNS共有
19	グループでの指導案作成 (1)	講義、 グループワーク	発表準備、発表のフィード バック作成 (SNSに共有)
20	指導案作成に向けて： 言語材料のバリエーション (2)	講義、学生発表 グループワーク	発表準備、発表のフィード バック作成 (SNSに共有)
21	グループでの指導案作成 (2)	講義、グループワーク	各自テーマを調べる レポート作成、SNS共有
22	模擬授業発表 (1)・相互評価と講評	学生発表、 相互評価、講評	発表準備と実践練習 フィードバック作成・共有
23	模擬授業発表 (2)・相互評価と講評	学生発表、 相互評価、講評	発表準備と実践練習 フィードバック作成・共有
24	模擬授業発表 (3)・相互評価と講評	学生発表、 相互評価、講評	発表準備と実践練習 フィードバック作成・共有
25	模擬授業発表 (4)・相互評価と講評	学生発表、 相互評価、講評	発表準備と実践練習 フィードバック作成・共有
26	模擬授業発表 (5)・相互評価と講評	学生発表、 相互評価、講評	発表準備と実践練習 リアクションペーパー
27	模擬授業発表 (6)・相互評価と講評	学生発表、 相互評価、講評	発表準備と実践練習 リアクションペーパー
28	模擬授業発表 (7)・相互評価と講評	学生発表、 相互評価、講評	発表準備と実践練習 リアクションペーパー
29	模擬授業発表 (8)・相互評価と講評	学生発表、 相互評価、講評	発表準備と実践練習 リアクションペーパー
30	振り返りとまとめ	講義、講評、 グループワーク	期末課題準備・作成

テキスト	1. 文部科学省『Hi! Friends ①』、『Hi! Friends ②』、『Hi! Friends ①指導編』、『Hi! Friends ②指導編』（東京書籍） 2. 文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』（東洋館出版）
参考書	上智大学 CLT プロジェクト・編『コミュニケーション型英語教育を考える』（アルク）
履修条件、 前提科目	・この授業を履修する学生は木 1・2 限のサービスマーケティング枠には他の授業を入れないこと。履修学生はサービスマーケティング枠を活用して秦野市小学校でこの授業で作成した指導案を用いたイングリッシュ・フレンド活動に参加し、指導の実践も体験できる。 ・この授業の履修には「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」「第二言語習得」のいずれかを修了している必要がある。
その他 特記事項	「児童英語教育演習 A」と両方の履修が可能である。A と B の履修順序は問わない。

科目名	EDU206: 児童英語指導者養成講座				担当教員	狩野 晶子	
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4203	オフィスアワー	月3限、水5限、木3限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	児童英語教育、小学校英語活動、言語習得、英語教授法、レッスンプラン						
授業の概要	小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）認定による「小学校英語指導者資格」の取得を目指し、児童英語指導者として求められる基礎的な知識と模擬実践経験を得る。子どもの言語習得理論、児童心理学、認知発達理論など、指導者として必要な理論の基礎を学び、児童英語指導者に求められる英語力を身につけるためのトレーニングを行う。実践を想定した模擬授業を通して授業スキルやレッスンプランの書き方を体得する。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b> 児童英語教師として小学校での英語指導や指導補助を行うことを目指し、児童英語に関する基礎知識、教授技術の基本を知り、英語のみでの指導が行える指導技術と英語力を習得することを目標とする。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>①児童英語指導者に必要な英語力の体得に加え、言語習得理論や児童心理、認知発達理論など、児童英語教育の理論の基礎を習得する。</p> <p>②レッスンプランを作成し、アクティビティを実践することを通して、効果的に児童への指導が行える力を養う。</p> <p>③小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）の認定による「小学校英語指導者準認定資格」の取得を目指す。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b></p> <p>①授業への参加姿勢・リアクションペーパー（30%）、②小課題・ノート提出（20%）、③英文法小テスト（20%）、④アクティビティ発表・レッスンプラン作成（30%）</p> <p><b>【評価基準】</b></p> <p>①積極的に授業に参加し討論やグループでの発表に貢献しているか、学んだことを的確に省察し書いているか。②小課題として振り返りチェックを行い、ノートを提出していること。③英文法小テストとして行う通信講座『英語力トレーニング』確認テストを実施し、各課題の合格点をクリアしているか。④アクティビティ発表は講義で学んだ教授技術を実践に生かしたものとなっているか、レッスンプラン作成に際しては、作成手順に即し子どもの発達に合ったプランになっているか。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	児童英語教師とは	講義、グループワーク、DVD視聴	『基礎知識1』Week1,2の予習
2	子どもと英語—児童英語教育の意義・目的	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week3の予習、振り返りチェック
3	児童心理学（1）	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week4の予習、振り返りチェック
4	児童心理学（2）	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week4の予習
5	子どもの言語習得（1）	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week5の予習、振り返りチェック
6	子どもの言語習得（2）	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week5の予習
7	認知発達理論（1）	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week6の予習、振り返りチェック
8	認知発達理論（2）	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week6の予習
9	バイリンガル教育	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week7の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	国際理解教育と異文化理解教育	講義、グループワーク	『基礎知識 1』Week8 の予習、振り返りチェック
11	小学校英語活動の位置づけ	講義、グループワーク	『基礎知識 2』Week1 の予習、振り返りチェック
12	小学校英語活動の意義と課題	講義、グループワーク	『基礎知識 2』Week2 の予習、振り返りチェック
13	小・中・高の連携	講義、グループワーク	『基礎知識 2』Week3, 4 の予習、振り返りチェック
14	代表的な英語教授法・指導法 (1)	講義、グループワーク	『基礎知識 3』Week5 の予習
15	代表的な英語教授法・指導法 (2)	講義、グループワーク	『基礎知識 3』Week5 の予習
16	クラスルーム・イングリッシュ	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』Week13～15 の予習
17	語彙力・パラフレーズ力・状況設定力 (1)	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』Week16～20 の予習
18	語彙力・パラフレーズ力・状況設定力 (2)	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』Week20～24 の予習
19	カリキュラムとレッスンプラン (1)	講義、グループワーク	『基礎知識 3』Week6 の予習
20	カリキュラムとレッスンプラン (2)	講義、グループワーク	『基礎知識 3』Week6 の予習
21	教材・教具 (1)	講義、グループワーク	『基礎知識 3』Week7 の予習、振り返りチェック
22	教材・教具 (2)	講義、グループワーク	『基礎知識 3』Week8 の予習、振り返りチェック
23	レッスンを構成するアクティビティ	講義、グループワーク	『基礎知識 3』Week8 の予習
24	レッスンプランの考え方	講義、グループワーク	『レッスンプラン作成ガイド』Week9 の予習
25	レッスンプランの書き方	講義、グループワーク	『レッスンプラン作成ガイド』Week10 の予習
26	レッスンプランの作成 (1)	レッスンプランの共有、相互講評	レッスンプランの作成
27	レッスンプランの作成 (2)	レッスンプランの共有、相互講評	レッスンプランの作成
28	アクティビティ発表 (1)	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
29	アクティビティ発表 (2)	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
30	アクティビティ発表 (3)	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習

テキスト	通信講座『「アルク児童英語教師養成コース」テキスト（基礎理論編、レッスンプラン編）』（アルク）＊通信講座への申し込みと受講費支払いが必要。
参考書	文部科学省『Hi! Friends ①』、『Hi! Friends ②』（東京書籍）
履修条件、前提科目	通信講座「アルク児童英語教師養成コース」をベースとする授業のため、同講座を受講することが必須となる。（通信講座受講費用が別途かかる。）
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>この授業の終了時には少なくとも TOEIC500 点以上となるよう努力すること。</li> <li>この授業を取る者は積極的にサービラーニング活動に参加すること。</li> </ul>

科目名	JPN300: 日本語教育演習				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	春	開講時限	月1・2限	研究室	4217	オフィスワー	月・火3限
分類	選択	単位	4	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	年少者日本語教育、バイリンガル、JSLカリキュラム、アセスメント						
授業の概要	この授業では、秋学期に日本語教育概論で学んだ外国語としての日本語の教え方を発展させる。学期前半はバイリンガルの言語発達に関する理論を学び、後半は日本国内で日本の学校に通う児童生徒への日本語指導の方法を中心に学ぶ。日本語指導をどのように他の教科学習に取り入れるか、在籍クラスでの教科学習にどのような指導が必要かをJSLカリキュラムの概念にしたがって学習する。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標】</b>          本科目は、バイリンガルの言語発達に関して学ぶことで、成人と年少者の第二言語の習得の違いを理解できるようになり、成人と年少者にあった日本語の教え方を工夫できるようになることを目的とする。</p> <p><b>【到達目標】</b>          学期末には、日本語指導が必要な児童の認知的な発達レベルを考慮した教科(国語、算数、理科、社会)の授業計画と実践ができるようになる。学習者の日本語のレベルに合わせた言葉の使用や視覚教材の作成、授業中のスキヤフオールディングができるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法】</b>          授業への積極参加 10%、小テスト 30%、模擬授業 30%、期末課題(教案作成) 30%、詳細は授業の初めに説明する。</p> <p><b>【評価基準】</b>          授業への積極参加：授業での発言やグループワークへの貢献を評価する。          小テスト：既に学習した授業の内容の理解確認。          模擬授業：授業計画、教案作成、実践のスムーズさ、スキヤフオールディングの質を総合的に評価する。          期末レポート：教科学習の内容をよく理解し授業計画が立てられているか、実践可能な教案を作成できるか、使用する言語は学習者のレベルに相応しいものかを評価する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	年少者日本語教育とは	講義、ディスカッション、質疑応答	秋学期のカレッジフレンドについてまとめる
2	カレッジフレンドの振り返り	グループワーク、発表	振り返り内容を記述する
3	年少者日本語教育に関する問題点と課題を絞り、小論文を書く	グループワーク、発表	問題点と課題のまとめ
4	バイリンガルの子どもの言語発達	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書を読んで小論文のテーマに該当する箇所を探す
5	バイリンガルの子どもの母語	講義、ディスカッション、質疑応答	小テスト準備
6	小テストと解説 生活言語と学習言語の違い	小テスト、解説、講義	教科書を読んで小論文のテーマに該当する箇所を探す
7	学習言語を育てるには	講義、ディスカッション、質疑応答	小テスト準備
8	小テストと解説 バイリンガルの母語とアイデンティティ	小テスト、解説、講義	教科書を読んで小論文のテーマに該当する箇所を探す
9	日本で育つ言語マイノリティの子どもの母語	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書を読んで小論文のテーマに該当する箇所を探す
10	日本で育つ言語マイノリティと教育	講義、ディスカッション、質疑応答	教科書を読んで小論文のテーマに該当する箇所を探す

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	継承語教育	講義、ディスカッション、質疑応答	小テスト準備
12	小テストと解説 多文化国家における言語マイノリティと教育－オーストラリアの場合	小テスト、解説、講義	ハンドアウト読む
13	多文化国家における言語マイノリティと教育－北米の場合	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウト読む
14	言語マイノリティの子どもの教え方1 －取り出し授業	講義、ディスカッション、質疑応答	小テスト準備
15	小テストと解説 言語マイノリティの子どもの教え方2 －スキヤフオールディング	小テスト、解説、講義	ハンドアウト読む
16	言語マイノリティの子どものアセスメント	講義、ディスカッション、質疑応答	発表準備
17	プロジェクト発表	発表	発表準備
18	プロジェクト発表	発表	発表準備
19	JSL カリキュラム －開発の背景	講義、質疑応答	ハンドアウト読む
20	JSL カリキュラム －国語	グループワーク	ハンドアウト読む
21	JSL カリキュラム －算数	グループワーク	ハンドアウト読む
22	JSL カリキュラム －社会	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウト読む
23	JSL カリキュラム －理科	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウト読む
24	レッスンプラン作成	グループワーク	模擬授業準備
25	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
26	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
27	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
28	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
29	まとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	復習
30	学期のまとめ	期末課題の説明	復習

テキスト	河原俊昭・山本忠行・野山広『日本語が話せないお友達を迎えて』（くろしお出版） その他、ハンドアウトをクラスで配布
履修条件、 前提科目	日本語教育概論を履修済みであることを条件とする。
その他 特記事項	5月以降カレッジフレンドへの参加を原則とするため、サービ斯拉ーニング枠に他の授業を履修することは控えてください。